

USB 二次元コードリーダー

Image7-USB



システム設定マニュアル

目次

第1章 はじめに	1
第2章 スキャナの操作方法	2
2.1 ブザー音の定義	2
2.2 確認用LEDの定義	2
2.3 読取開始トリガ	2
2.4 読取の基本操作	3
2.5 操作方法の設定	4
2.5.1 読取確認ブザーおよび読取確認LEDの初期設定	5
2.5.2 読取確認ブザー音量の設定	6
2.5.3 読取確認ブザー鳴動停止の設定	7
2.5.4 読取確認ブザー音程の設定	8
2.5.5 読取確認LEDの設定	9
2.5.6 電源オン時確認用ブザー/LEDの設定	10
2.5.7 読取開始と操作方法の設定	11
2.5.8 読取開始と操作方法の初期設定	11
2.5.9 トリガスイッチのモード設定	12
2.5.10 読取可能状態(読取モード)の設定	13
2.5.11 読取可能時間の設定	14
2.5.12 2度読み防止タイマーの設定	16
2.5.13 送信間隔の設定	18
第3章 メニューバーコードの使い方	20
3.1 メニューバーコードについて	20
3.2 メニューバーコードによる機能設定方法	20
3.3 メニューバーコードによる機能設定例	21
3.4 出荷時初期設定に戻す場合	22
第4章 読取コードの設定	23
4.1 読取コードの出力形式	24
4.2 読取コードの選択	25
4.3 読み取り許可のメニューバーコードラベル一覧	26
4.4 読取禁止コードの選択	30
4.5 単独読取設定	34
4.6 共通読取設定	40
4.6.1 全搭載コード自動読取設定	40
4.6.2 WPC読取設定	41
第5章 各コード詳細オプションの設定	42
5.1 UPC-Aの読取オプション設定	42
5.1.1 CD転送/先頭"0"転送	43
5.1.2 アドオン待機タイマー設定	44
5.2 UPC-Eの読取オプション設定	45
5.2.1 CD転送/先頭"0"転送	46
5.2.2 アドオン待機タイマー設定	47
5.3 JAN/EAN-13 およびJAN/EAN-8 の読取オプションの設定	48
5.3.1 アドオン待機タイマーの設定	50
5.4 Code39 の読取オプションの設定	51

5.4.1	CD計算の設定	52
5.4.2	CD転送の設定	53
5.4.3	スタート/ストップコードの転送	54
5.5	Code93 の読取オプションの設定	55
5.6	NW7 の読取オプションの設定	56
5.6.1	CD計算の設定	57
5.6.2	CD転送の設定	58
5.6.3	スタート/ストップコードの転送	59
5.7	Interleaved 2of5 の読取オプションの設定	60
5.7.1	CD計算の設定	61
5.7.2	CD転送の設定	62
5.8	Industrial 2of5 の読取オプションの設定	63
5.8.1	CD計算の設定	64
5.8.2	CD転送の設定	65
5.9	IATA 2of5 の読取オプションの設定	66
5.9.1	CD計算の設定	67
5.9.2	CD転送の設定	68
5.10	Code128 の読取オプションの設定	69
5.11	UCC/EAN-128 の読取オプションの設定	70
5.11.1	UCC/EAN-128 の変換と出力モードの選択	71
5.11.2	データ区切り文字の設定	73
5.12	MSI/Pleassey の読取オプションの設定	89
5.13	二次元コードの読取オプションの設定	90
5.13.1	旧規格PDF417 の読取の設定	92
5.13.2	Code128 エミュレーションの設定	93
5.14	RSSファミリーの読取オプションの設定	98
5.14.1	CD転送の設定	100
5.14.2	先頭AI(01)の転送設定	101
5.15	コンポジットコードの読取オプション設定	102
5.15.1	UPC/EANコンポジットコードの設定	104
5.15.2	RSSコンポジットコードの設定	106
5.15.3	UCC/EAN-128 コンポジットコードの設定	108
第6章	データ出力オプション	110
6.1	データ出力オプションの初期設定	111
6.2	コモンプリフィックスの設定	115
6.3	コモンサフィックスの設定	118
6.4	コモンプリフィックス/コモンサフィックスのクリア設定	121
6.5	コード別プリフィックス/サフィックスのクリア設定	122
6.6	UPC-Aのプリフィックス/サフィックス設定	123
6.7	UPC-Aアドオンのプリフィックス/サフィックス設定	125
6.8	UPC-Eのプリフィックス/サフィックス設定	127
6.9	UPC-Eアドオンのプリフィックス/サフィックス設定	129
6.10	JAN/EAN-13 のプリフィックス/サフィックス設定	131
6.11	JAN/EAN-13 アドオンのプリフィックス/サフィックス設定	133
6.12	JAN/EAN-8 のプリフィックス/サフィックス設定	135
6.13	JAN/EAN-8 アドオンのプリフィックス/サフィックス設定	137

6.14	Code39 のプリフィックス/サフィックス設定	139
6.15	NW7 のプリフィックス/サフィックス設定	141
6.16	Interleaved 2of5 のプリフィックス/サフィックス設定	143
6.17	Industrial 2of5 のプリフィックス/サフィックス設定	145
6.18	IATA 2of5 のプリフィックス/サフィックス設定	147
6.19	Code93 のプリフィックス/サフィックス設定	149
6.20	Code128 のプリフィックス/サフィックス設定	151
6.21	MSI/Plesseyのプリフィックス/サフィックス設定	153
6.22	PDF417 のプリフィックス/サフィックス設定	155
6.23	MicroPDF417 のプリフィックス/サフィックス設定	157
6.24	QRコードのプリフィックス/サフィックス設定	159
6.25	Data Matrixコードのプリフィックス/サフィックス設定	161
6.26	Maxiコードのプリフィックス/サフィックス設定	163
6.27	Aztecコードのプリフィックス/サフィックス設定	165
6.28	RSSファミリーのプリフィックス/サフィックス設定	167
6.29	コンボジットコードのプリフィックス/サフィックス設定	169
第7章	コード長(桁数)の転送オプション	171
7.1	UPC-Aのコード長(桁数)の転送設定	171
7.2	UPC-A アドオン2桁/5 桁のコード長(桁数)の転送設定	172
7.3	UPC-Eのコード長(桁数)の転送設定	173
7.4	UPC-E アドオン2桁/5 桁のコード長(桁数)の転送設定	174
7.5	JAN/EAN-13 のコード長(桁数)の転送設定	175
7.6	JAN/EAN-13 アドオン2桁/5 桁のコード長(桁数)の転送設定	176
7.7	JAN/EAN-8 のコード長(桁数)の転送設定	177
7.8	JAN/EAN-8 アドオン2桁/5 桁のコード長(桁数)の転送設定	178
7.9	Code39 のコード長(桁数)の転送設定	179
7.10	NW7 のコード長(桁数)の転送設定	180
7.11	Interleaved 2of5 のコード長(桁数)の転送設定	181
7.12	Industrial 2of5 のコード長(桁数)の転送設定	182
7.13	IATA 2of5 のコード長(桁数)の転送設定	183
7.14	Code93 のコード長(桁数)の転送設定	184
7.15	Code128 のコード長(桁数)の転送設定	185
7.16	MSI/Plesseyのコード長(桁数)の転送設定	186
第8章	読取失敗メッセージの設定	187
8.1	読取失敗メッセージの選択	187
第9章	アドバンスドスキャン	189
9.1	読取桁数固定の設定	189
9.1.1	桁固定Aの設定	189
9.1.2	桁固定Bの設定	191
9.1.3	桁固定設定A、Bのクリア	192
第10章	付録	193
付録A	直接コード入力	194
付録B	AIコード入力	249
付録C	サンプルバーコード	269

第1章 はじめに

このシステム設定マニュアルは、本スキャナをご使用になる上での機能設定方法について説明するものです。

★ おことわり

- 本書は間違いや、誤記の無いように注意して編集しております。万一、誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接、間接の損害、不利益につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になるほかは、著作権法上、弊社に無断で使用することを禁じます。
- 本書の内容は改良のため、予告なく変更することがあります。

第 2 章 スキャナの操作方法

本章では、スキャナの機能について説明します。

2.1 ブザー音の定義

スキャナは、ブザー音によりその動作状態を通知します。尚、読取コード読取時のブザーの音量、周波数は変更することができます。「読取確認ブザーおよび読取確認 LED の設定」の章をご参照ください。

状態	ブザー音	意味
読取コード読取時	ピロ(単音)	正常読取完了
メニューバーコード読取時	ピッ ピッ(連続音)	メニューモード動作中
	ピ(単音)	読取ったメニューバーコードのメニュー機能は本スキャナではサポートしていません。

2.2 確認用 LED の定義

スキャナは、確認用 LED によりその動作状態を通知します。設定方法は、「読取確認ブザーおよび読取確認 LED の設定」の章をご参照ください。

状態	確認用 LED 状態	意味
バーコード読取時	緑色点灯	正常読取完了

2.3 読取開始トリガ

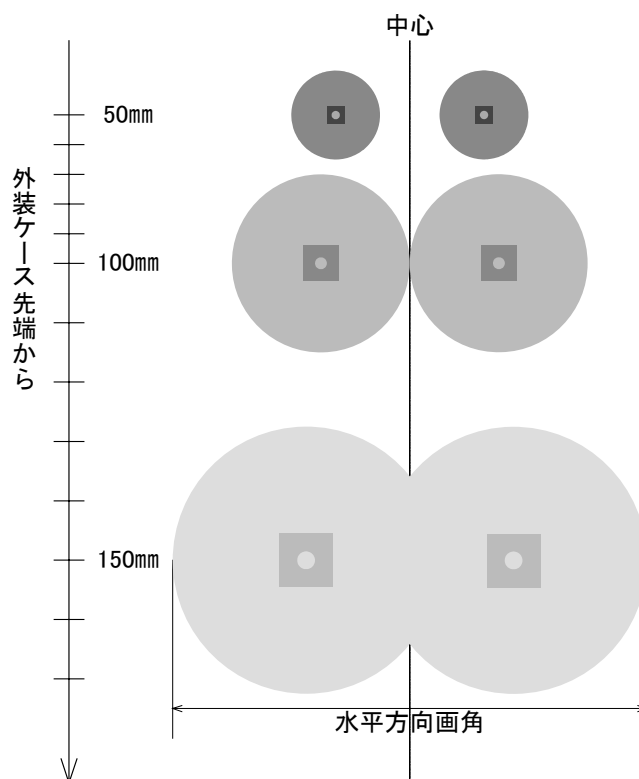
スキャナでの読取を開始する方法として、下記があります。設定方法は「読取確認と操作方法の設定」の章をご参照ください。

トリガスイッチ押下による読取開始

スキャナのトリガスイッチを押下すると読取窓より赤色の LED 光源が発光します。はじめに、読取窓を読取コードラベルに近づけ、トリガスイッチを押下してください。LED 光源が発光し読取コードラベルを読取ることができます。

2.4 読取の基本操作

読み取り窓から照射される下図のような LED 光源は、読み取り率を向上させるためのガイドとなります。このガイドをエイミングパターンと呼びます。



エイミングパターンを利用して読み取り率をより向上させることができます。

- ①シンボルを読み取るときは、エイミングパターンの中心をシンボルの中心に合わせるようにします。
- ②横 40 mm × 縦 30 mm 程度の小さいシンボルの場合、シンボルが水平方向のエイミングパターンの内側に入るようにします。この場合の読み取り窓からシンボルまでの距離は 70～80 mm になります。
- ③LED 光の反射しやすい光沢紙に印字されたシンボルや透明のカードケースに入ったシンボルを読み取る場合には、上下方向に 15° 程度斜めにする事で読み取り易くなります。

2.5 操作方法の設定

読取確認ブザーおよび読取確認LEDの設定

読取確認ブザーの音量、音質設定や読取確認 LED の点灯設定について説明します。

読取開始と操作方法の設定

読取開始のトリガスイッチや紙面検知等の設定及び操作方法について説明します。

読取確認ブザーおよび読取確認LEDの設定

2.5.1 読取確認ブザーおよび読取確認 LED の初期設定

読取確認ブザー及び読取確認 LED の初期設定は次の通りです。

項目	初期設定
読取確認ブザー音量	最大
読取確認ブザー音程	ピロ (3KHz + 2KHz)
読取確認ブザー鳴動時間	200ms
読取確認 LED の点灯時間	200ms

2.5.2 読取確認ブザー音量の設定

本スキャナでは、読取確認ブザー音量を 4 段階で設定できます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
択 一	ブザー音量(最大)	 T 0	T0	○
	ブザー音量(大)	 T 1	T1	
	ブザー音量(中)	 T 2	T2	
	ブザー音量(小)	 T 3	T3	
終了(END)		 Z 7	Z7	—

2.5.3 読取確認ブザー鳴動停止の設定

本スキャナでは、読取確認ブザーの鳴動を停止することができます。尚、読取確認ブザーの鳴動を開始するには、「読取確認ブザー音程の設定」を行ってください。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
択一	ブザー鳴動停止	 W 0	W0	
終了(END)		 Z 7	Z7	—

2.5.4 読取確認ブザー音程の設定

本スキャナでは、読取確認ブザー鳴動の音程の設定ができます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
選択	ブザー音程 ピ 3KHz		W1	
	ブザー音程 ピロ 3KHz + 2KHz		W2	○
	ブザー音程 ピパ 2KHz + 3KHz		W3	
終了(END)			Z7	—

2.5.5 読取確認 LED の設定




本スキャナでは、読取確認用 LED の点灯時間を設定することができます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
択 一	読取確認 LED 点灯時間 100ms	 T 8	T8	
	読取確認 LED 点灯時間 200ms	 T 5	T5	○
	読取確認 LED 点灯時間 400ms	 T 6	T6	
	読取確認 LED 点灯時間 800ms	 T 7	T7	
終了(END)		 Z 7	Z7	-

2.5.6 電源オン時確認用ブザー/LED の設定

本スキャナでは、電源オン時に確認用ブザー鳴動と確認用 LED 点灯を行うことができます。

項目	電源オン時確認用ブザー/LED を使用する場合の設定値
確認用ブザー	音程 3KHz 鳴動時間 500ms
確認用 LED	点灯時間 500ms

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
択一	電源オン時確認用ブザー/LED を使用しない		GK	
	電源オン時確認用ブザー/LED を使用する		GL	○
終了(END)			Z7	—

読取開始と操作方法の設定

2.5.7 読取開始と操作方法の設定

・「トリガスイッチ」モード

スキャナのトリガスイッチを押下することで、「読取可能時間」として設定された間、「読取可能状態」となります。この状態で読取コードラベルを検出すると読取を開始します。

「読取可能状態」には、次の 2 つの読取モードがあります。

・単発読取モード

読取可能状態で読取コードラベルを検出し読取を完了すると読取可能状態を終了します。

・複数読取モード

読取可能状態で読取コードラベルを検出すると読取コードラベルの読取を開始します。さらに他の読取コードラベルを検出すると続けて読取コードラベルの読取を開始します。

尚、複数読取モードにおいて、同一ラベルは 2 度読み防止回数設定により続けて読取できないようにしています。2 度読み防止回数は、設定変更できます。また、読取可能状態で「読取可能時間」で設定された時間内にバーコードラベルを検出できない場合には、読取可能状態を終了します。

2.5.8 読取開始と操作方法の初期設定

読取開始と操作方法の設定の初期設定は次の通りです。

項目	初期設定
トリガスイッチ	使用する
読取可能状態(読取モード)	単発読取モード
読取可能時間	2 秒
2 度読み防止タイマー	1000msec

2.5.9 トリガスイッチのモード設定

トリガスイッチを使用する/使用しないを設定します。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
択一	トリガスイッチを使用する	 S 8	S8	○
	トリガスイッチを使用しない	 S 7	S7	
終了(END)		 Z 7	Z7	—

2.5.10 読取可能状態（読取モード）の設定




読取開始後の読取可能状態を選択します。

- ・単発読取モード

読取可能状態で読取コードラベルを検出し読取を完了すると読取可能状態を終了します。

- ・複数読取モード

読取可能状態で読取コードラベルを検出すると読取コードラベルの読取を開始します。さらに他の読取コードラベルを検出すると続けて読取コードラベルの読取を開始します。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
択 一	単発読み		S0	○
	複数読み		S1	
終了(END)			Z7	—

2.5.11 読取可能時間の設定

読取可能状態時の読取可能時間を設定します。読取可能時間で設定された時間の間、スキャナは読取可能状態となります。本スキャナでは、読取可能状態の間エイミングパターンが出力されます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
択一	読取可能時間設定 トリガ ON 中のみ	 Y 0	Y0	
	読取可能時間設定 1 秒	 Y 1	Y1	
	読取可能時間設定 2 秒	 Y 2	Y2	○
	読取可能時間設定 3 秒	 Y 3	Y3	
	読取可能時間設定 4 秒	 Y 4	Y4	

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
択 一	読取可能時間設定 5 秒	 Y I	YI	
	読取可能時間設定 6 秒	 Y 5	Y5	
	読取可能時間設定 7 秒	 Y J	YJ	
	読取可能時間設定 8 秒	 Y 6	Y6	
	読取可能時間設定 9 秒	 Y K	YK	
	読取可能時間設定 10 秒	 Y 7	Y7	
終了(END)		 Z 7	Z7	—

2.5.12 2 度読み防止タイマーの設定

同一ラベルは、2 度読み防止タイマーを設定することにより続けて読取できないようにしています。本設定により 2 度読み防止タイマーを設定変更することができます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
択	2 度読み防止タイマー 100ms	 A H	AH	
	2 度読み防止タイマー 200ms	 A I	AI	
	2 度読み防止タイマー 400ms	 A J	AJ	
	2 度読み防止タイマー 600ms	 A K	AK	
	2 度読み防止タイマー 800ms	 A L	AL	

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
択一	2 度読み防止タイマー 1000ms	 A M	AM	○
	2 度読み防止 1200ms	 A N	AN	
終了(END)		 Z 7	Z7	-

2.5.13 送信間隔の設定

使用するホスト装置(PC)に合わせて、スキャナから転送されるデータの各文字間の送信間隔を設定することができます。使用するホスト装置の性能によっては、転送速度が速すぎて、全ての文字を受信することができない場合があります。もし、データを正しく受信できない場合、正しく受信できるまで送信間隔の調整を行ってください。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
択一	送信間隔なし	 K 0	K0	○
	送信間隔 10ms	 K 1	K1	
	送信間隔 20ms	 K 2	K2	
	送信間隔 30ms	 K 3	K3	
	送信間隔 40ms	 K 4	K4	

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
択一	送信間隔 50ms	 K 5	K5	
	送信間隔 60ms	 K 6	K6	
	送信間隔 70ms	 K 7	K7	
終了 (END)		 Z 7	Z7	—

第3章 メニューバーコードの使い方

本スキャナには、様々な機能を搭載しており、利用者はその運用形態に応じた機能の選択設定ができます。

メニューバーコードによる機能設定

機能設定のための専用バーコードラベルを読み取らせることにより機能設定を行う方法です。

本章では、メニューバーコードによる機能設定の方法について説明します。


3.1 メニューバーコードについて

メニューバーコードは、弊社製バーコードスキャナの機能設定を行うための独自規格バーコードです。メニューバーコードラベルは、スキャナで選択できる機能をメニューとして各ラベルに割り当てたものです。

3.2 メニューバーコードによる機能設定方法

メニューバーコードによる機能設定を行う手順は、次の通りです。

1) 設定開始 (SET)


設定開始バーコードラベル  を読み取ります。設定開始のメニューバーコードを読み取ると、スキャナはメニューモードとなり、断続ブザー“ピーピー”が鳴り続けます。

2) 機能選択

機能設定に必要なメニューバーコードラベルを読み取ります。設定したい機能項目が複数ある場合は、連続してメニューバーコードを読み取ることができます。

各設定のメニューバーコードラベルは正常読取毎に正常読取ブザー“ピロ”が鳴ります。読取エラー音“ピ”がした場合は、その読取ラベルの設定項目が本装置では設定不可能なことを示します。

3) 設定終了 (END)

必要な全てのメニューバーコードラベルを読み終えたら「終了」バーコードラベル  を読み取ります。これにより、メニューモードの断続ブザーが停止し、メニューモードの間に読取られたメニューバーコードラベルの全設定が不揮発性メモリに書込まれます。

3.3 メニューバーコードによる機能設定例

例)「Code39 のみ読取」「チェックデジット(CD)を計算する」の機能設定を行う。

読取順番	機能	メニューラベル	メニューコード
1	設定開始	 Z 7	Z7
2	Code39 のみ読取	 A 2	A2
3	チェックデジット(CD)を計算する	 C 1	C1
4	設定終了	 Z 7	Z7

3.4 出荷時初期設定に戻す場合

メニューによる機能設定をやり直する場合や、設定した内容を出荷時の状態に戻したい場合には、次のメニューバーコードラベルを読取ってください。工場出荷時の状態に戻ります。

工場出荷時の初期設定は、各設定説明のメニューラベル表上の初期設定欄に○印で示しています。

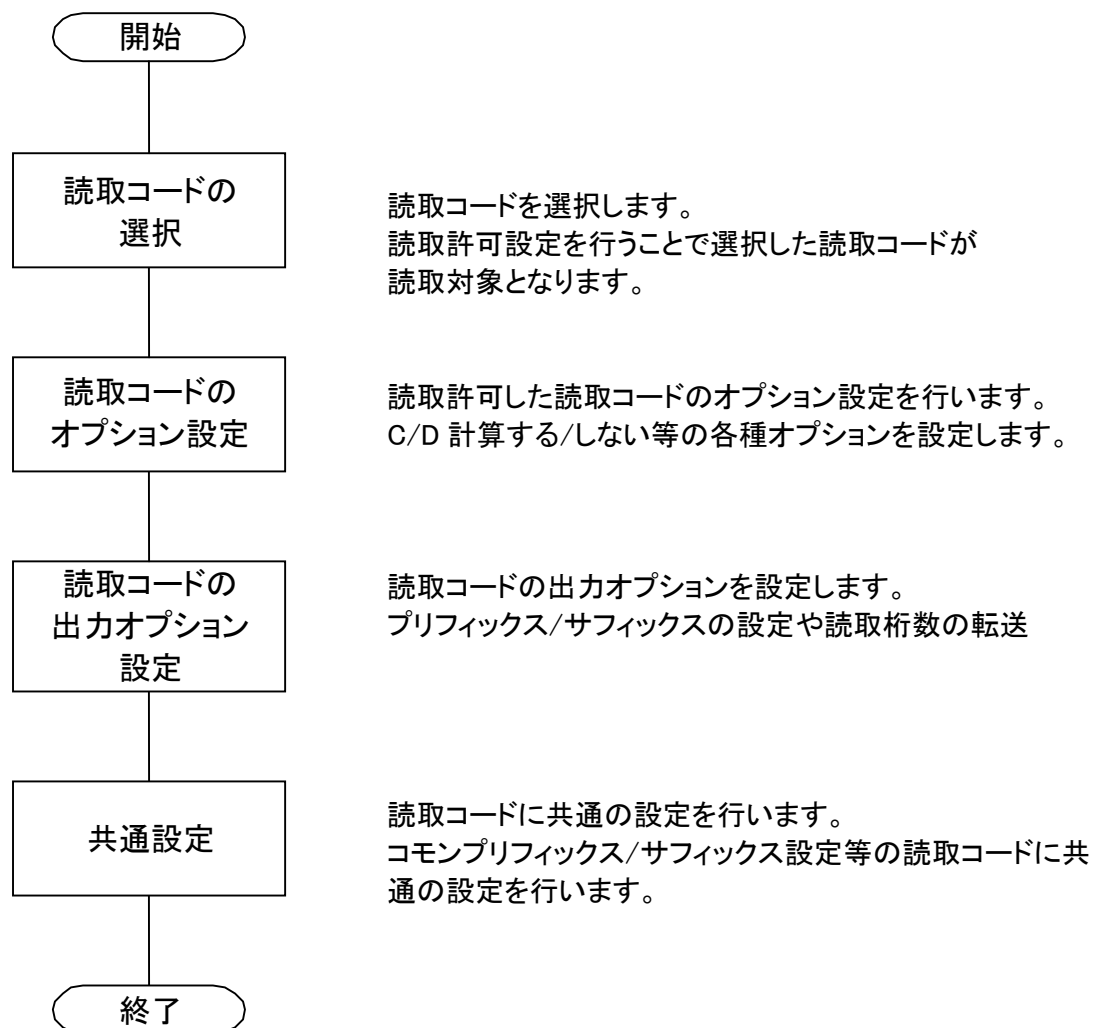
機能	メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		Z7	—
出荷時初期設定に戻す		U1	○
終了(END)		Z7	—

第 4 章 読取コードの設定

本スキャナは、様々な読取コードを読取ることができます。ご利用目的に合わせ読取コードを選択し、読取オプションを最適化することでより良いご利用が可能となります。本章では、読取コードに対する様々な設定について説明します。

読取コードの設定手順

読取コードの設定の手順を次に示します。



4.1 読取コードの出力形式

本スキャナでは、読取データを上位装置に転送する際に、プリフィックスやサフィックスを付加する等、データ出力形式を指定して転送することができます。

転送データ形式

コモン プリフィックス	コード別 プリフィックス	コード長 (桁数)	読取データ	コード別 サフィックス	コモン サフィックス
----------------	-----------------	--------------	-------	----------------	---------------

各データ出力オプションの説明

データ出力オプション 設定名	説明	最大桁数	備考
コモンプリフィックス	全コードに共通で転送データの先頭に付加される文字列	8 桁	
コード別プリフィックス	読取コード別に付加される先頭文字列 コード長(桁数)が転送される場合は、コード長(桁数)の前に付加されます	4 桁	
コード長(桁数)	読取データの前に付加される読取データのコード長(桁数)	2 桁	
読取データ	読取データ	各読取コードによる	
コード別サフィックス	読取コード別に読取データに付加される後置文字列	4 桁	
コモンサフィックス	全コード共通で転送データの最後に付加される文字列	8 桁	

4.2 読取コードの選択

本スキャナで搭載しているバーコード読取機能に対し読取可否の設定を行うことで、運用する読取コードを選択することができます。読取可否設定には、読取許可、読取禁止の 2 つの設定状態があります。また、単独読取設定により選択した読取コードを読取許可とし、それ以外の読取コードを読取禁止とすることができます。

読取許可設定

読取許可設定により、選択した読取コードが読取可能となります。既に読取許可となっている読取コードには影響を与えません。読取許可設定を追加することで、複数の読取コードを読取許可することができます。







(設定例)

Code39 の読取の設定に続けて、Code128 の読取許可を設定することで、Code39 と Code128 が読取対象のバーコードとなります。

機能		メニューラベル	メニューコード	備考
1	開始(SET)		Z7	—
2	Code39 を読取許可		B2	
3	Code128 を読取許可		B6	
4	終了(END)		Z7	—

4.3 読み取り許可のメニューバーコードラベル一覧

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	-
複数選択可	UPC を読取許可		R1	○
	UPC アドオン 2 桁を読取許可		R2	
	UPC アドオン 5 桁を読取許可		R3	
	JAN/EAN を読取許可		R4	○
	JAN/EAN アドオン 2 桁を読取許可		R5	
	JAN/EAN アドオン 5 桁を読取許可		R6	

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可	Code39 を読取許可	 B 2	B2	○
	NW7 を読取許可	 B 3	B3	○
	Industrial 2of5 を読取許可	 R 7	R7	○
	Interleaved 2of5 を読取許可	 R 8	R8	○
	Code93 を読取許可	 B 5	B5	
	Code128 を読取許可	 B 6	B6	○
	MSI/Plessey を読取許可	 B 7	B7	

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可	IATA 2of5 を読取許可	 B 8	B8	
	PDF417 を読取許可	 8 F	8F	○
	MicroPDF417 を読取許可	 B B 0	BB0	
	QR コードを読取許可	 8 K	8K	○
	Data Matrix コードを読取許可	 8 P	8P	○
	Maxi コードを読取許可	 8 U	8U	○
	Aztec コードを読取許可	 C 4	C4	

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可	Aztec Runes コードを読取許可		C8	
	RSS ファミリーを読取許可		BB7	
	RSS-14 を読取許可		JX	
	RSS-Limited を読取許可		JY	
	RSS-Expanded コードを読取許可		DR	
	コンポジットコードを読取許可		BL2	
終了(END)			Z7	-

4.4 読取禁止コードの選択

本設定により、対象バーコードを読取禁止とすることができます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
複数選択可	UPC を読取禁止	 4 B	4B	
	UPC アドオン 2 桁を読取禁止	 4 C	4C	○
	UPC アドオン 5 桁を読取禁止	 4 D	4D	○
	JAN/EAN を読取禁止	 4 E	4E	
	JAN/EAN アドオン 2 桁を読取禁止	 4 F	4F	○
	JAN/EAN アドオン 5 桁を読取禁止	 4 G	4G	○

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可	Code39 を読取禁止	 4 H	4H	
	NW7 を読取禁止	 4 I	4I	
	Industrial 2of5 を読取禁止	 4 K	4K	
	Interleved 2of5 を読取禁止	 4 L	4L	
	Code93 を読取禁止	 4 M	4M	○
	Code128 を読取禁止	 4 N	4N	
	MSI/Plessey を読取禁止	 4 0	40	○
	IATA 2of5 を読取禁止	 4 P	4P	○

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可	PDF417 を読取禁止	 8 G	8G	
	MicroPDF417 を読取禁止	 B B 1	BB1	○
	QR コードを読取禁止	 8 L	8L	
	Data Matrix コードを読取禁止	 8 Q	8Q	
	Maxi コードを読取禁止	 8 V	8V	
	Aztec コードを読取禁止	 c 5	C5	○
	Aztec Runes コードを読取禁止	 c 9	C9	○
	RSS ファミリーを読取禁止	 B B 8	BB8	○

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可	RSS-14 を読取禁止	 S J	SJ	○
	RSS-Limited を読取禁止	 S K	SK	○
	RSS-Expanded コードを読取禁止	 S L	SL	○
	コンポジットコードを読取許可	 * V	*V	○
終了(END)		 Z 7	Z7	-

4.5 単独読取設定

本設定を行うことで、設定したバーコードのみを読取対象とすることができます。通常の運用では、選択する読取コードは限定することができます。その場合には、該当するバーコードを単独読取設定することを推奨します。これにより、意図しない他のバーコードを読取ることを防止できるため、読取エラー率の向上が図れます。




(設定例 1)

Code39 のみを読取対象バーコードとすると、Code39 のみを読取可能となり Code39 以外の他のバーコードは読取禁止となります。

機能		メニューラベル	メニューコード	備考
1	開始(SET)		Z7	—
2	Code39 のみ読取		A2	
3	終了(END)		Z7	—

(設定例 2)

Code39 のみの読取の設定に続けて、Code128 の読取許可を設定することで、Code39 と Code128 のみが読取対象のバーコードとなります。

機能		メニューラベル	メニューコード	備考
1	開始(SET)		Z7	-
2	Code39 のみを読取許可		A2	
3	Code128 を読取許可		B6	
4	終了(END)		Z7	-

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
選択	UPC のみ読取		J1	
	UPC アドオン 2 桁のみ読取		J2	
	UPC アドオン 5 桁のみ読取		J3	
	JAN/EAN のみ読取		J4	
	JAN/EAN アドオン 2 桁のみ読取		J5	
	JAN/EAN アドオン 5 桁のみ読取		J6	

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
択一	RSS-14 のみ読取		J9	
	RSS-Limited のみ読取		JJ	
	RSS-Expanded コードのみ読取		JK	
終了(END)			Z7	-

4.6 共通読取設定

4.6.1 全搭載コード自動読取設定

本スキャナに搭載されている全ての読取コードをまとめて読取可能とする設定ができます。

自動読取設定で有効となる読取コード

一次元コード

WPC3 種(UPC,EAN,JAN(但し、アドオン含まず))、Code39、NW7、Code93、Code128 、
Interleaved 2of5 、Industrial 2of5 、IATA 2of5 、MSI/Plessey

二次元コード



PDF417 、MicroPDF417、QR コード、Data Matrix コード、Maxi コード、Aztec コード

RSS ファミリー

RSS-14 、RSS-Limited 、RSS-Expanded

コンポジットコード

UPC/EAN コンポジット、UCC/EAN-128 コンポジット、RSS コンポジット

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
択一	全搭載コード自動読取		A0	
	全搭載コード読取禁止		4Z	
終了(END)			Z7	—

4.6.2 WPC 読取設定

WPC 読取は、次の WPC (World Product Code) を読取可能とする設定です。

- UPC-A、UPC-A アドオン 2 桁、UPC-A アドオン 5 桁
- UPC-E、UPC-E アドオン 2 桁、UPC-E アドオン 5 桁
- JAN/EAN-13、JAN/EAN-13 アドオン 2 桁、JAN/EAN-13 アドオン 5 桁
- JAN/EAN-8、JAN/EAN-8 アドオン 2 桁、JAN/EAN-8 アドオン 5 桁

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
択一	WPC 読取許可		B1	
終了(END)			Z7	—

第 5 章 各コード詳細オプションの設定

各読取コードには、それぞれオプション設定があり個々に設定することができます。各読取コードに共通する設定としては、次のオプションがあります。

5.1 UPC-A の読取オプション設定

※UPC コードは、米国 Uniform Product Code Council Inc.によって制定された流通業向けのバーコードです。

UPC-A の概要

UPC-A は、次の通りの構成です。

項目	概要
キャラクタセット	数字(0～9)
桁数	12 桁(11 桁+CD1 桁)固定長
CD 計算方法	モジュラス 10/ウェイト 3

転送データ形式

先頭"0"	データ 11 桁	CD 1 桁
-------	----------	--------

UPC-A アドオン 2 桁/5 桁

UPC-A アドオン 2 桁/5 桁は、UPC-A のバーコードに 2 桁または 5 桁の補足コードを付加したものです。

転送データ形式 (UPC-A アドオン 2 桁)

先頭"0"	データ 11 桁	CD 1 桁	アドオン 2 桁
-------	----------	--------	-------------

転送データ形式 (UPC-A アドオン 5 桁)

先頭"0"	データ 11 桁	CD 1 桁	アドオン 5 桁
-------	----------	--------	----------

5.1.1 CD 転送/先頭"0"転送

CD(チェックデジット)の転送をする/しない及び先頭"0"を転送する/しないの設定です。先頭"0"とCDを転送する13桁の転送データ形式は、JAN/EAN-13と互換のある形式となり、推奨の形式です。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
択 一	UPC-A の CD を転送する。 先頭"0"も転送する。 転送桁数 13 桁		E2	○
	UPC-A の CD を転送する。 先頭"0"は転送しない。 転送桁数 12 桁		E3	
	UPC-A の CD を転送しない。 先頭"0"は転送する。 転送桁数 12 桁		E4	
	UPC-A の CD 転送をしない。 先頭"0"も転送しない。 転送桁数 11 桁		E5	
終了(END)			Z7	—

5.1.2 アドオン待機タイマー設定

アドオン待機タイマー値の設定をします。アドオン待機タイマーは、UPC-A/E、JAN/EAN-13/8 共通の設定です。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
選択	アドオン待機なし		SN	
	アドオン待機 250ms		S0	○
	アドオン待機 500ms		SP	
	アドオン待機 750ms		SQ	
終了(END)			Z7	—

5.2 UPC-E の読取オプション設定

UPC-E の概要

項目	概要
キャラクタセット	数字(0～9)
桁数	6 桁(11 桁+CD1 桁)固定長
CD 計算方法	モジュラス 10/ウェイト 3

転送データ形式

先頭"0"	データ 6 桁	CD 1 桁
-------	---------	--------

UPC-E アドオン 2 桁/5 桁

UPC-E アドオン 2 桁/5 桁は、UPC-E のバーコードに 2 桁または 5 桁の補足コードを付加したものです。

転送データ形式 (UPC-E アドオン 2 桁)

先頭"0"	データ 6 桁	CD 1 桁	アドオン 2 桁
-------	---------	--------	-------------

転送データ形式 (UPC-E アドオン 5 桁)

先頭"0"	データ 6 桁	CD 1 桁	アドオン 5 桁
-------	---------	--------	----------

5.2.1 CD 転送／先頭"0"転送

CD(チェックデジット)の転送をする/しない及び先頭"0"を転送する/しないの設定です。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
択 一	UPC-E の CD を転送する。 先頭"0"も転送する。 転送桁数 8 桁	 E 6	E6	
	UPC-E の CD を転送する。 先頭"0"は転送しない。 転送桁数 7 桁	 E 7	E7	
	UPC-E の CD を転送しない。 先頭"0"は転送する。 転送桁数 7 桁	 E 8	E8	○
	UPC-E の CD 転送をしない。 先頭"0"も転送しない。 転送桁数 6 桁	 E 9	E9	
終了(END)		 Z 7	Z7	-

5.2.2 アドオン待機タイマー設定

アドオン待機タイマー値の設定をします。アドオン待機タイマーは、UPC-A/E、JAN/EAN-13/8 共通の設定です。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
選択	アドオン待機なし	 S N	SN	
	アドオン待機 250ms	 S 0	S0	○
	アドオン待機 500ms	 S P	SP	
	アドオン待機 750ms	 S Q	SQ	
終了(END)		 Z 7	Z7	—

5.3 JAN/EAN-13 および JAN/EAN-8 の読取オプションの設定

JAN/EAN-13 および JAN/EAN-8 は、流通業界の共通商品シンボルとして規格化されたもので、13 桁の標準バージョンと 8 桁の短縮バージョンがあります。

JAN/EAN-13 の概要

項目	概要
キャラクタセット	数字(0～9)
桁数	13 桁(12 桁+CD1 桁) 固定長
CD 計算方法	モジュラス 10/ウェイト 3

転送データ形式

データ 12 桁	CD 1 桁
----------	--------

JAN/EAN アドオン 2 桁/5 桁

JAN/EAN アドオン 2 桁/5 桁は、JAN/EAN のバーコードに 2 桁または 5 桁の補足コードを付加したものです。

転送データ形式 (JAN/EAN アドオン 2 桁)

データ 12 桁	CD 1 桁	アドオン 2 桁
----------	--------	-------------

転送データ形式 (JAN/EAN アドオン 5 桁)

データ 12 桁	CD 1 桁	アドオン 5 桁
----------	--------	----------

JAN/EAN-8 の概要

項目	概要
キャラクタセット	数字(0～9)
桁数	8 桁(7 桁+CD1 桁) 固定長
CD 計算方法	モジュラス 10/ウェイト 3

転送データ形式

データ 7 桁	CD 1 桁
---------	--------

JAN/EAN アドオン 2 桁/5 桁

JAN/EAN アドオン 2 桁/5 桁は、JAN/EAN のバーコードに 2 桁または 5 桁の補足コードを付加したものです。

転送データ形式 (JAN/EAN アドオン 2 桁)

データ 7 桁	CD 1 桁	アドオン 2 桁
---------	--------	-------------

転送データ形式 (JAN/EAN アドオン 5 桁)

データ 7 桁	CD 1 桁	アドオン 5 桁
---------	--------	----------

5.3.1 アドオン待機タイマーの設定

アドオン待機タイマー値の設定をします。アドオン待機タイマーは、UPC-A/E、JAN/EAN-13/8 共通の設定です。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
選択	アドオン待機なし	 S N	SN	
	アドオン待機 250ms	 S 0	S0	○
	アドオン待機 500ms	 S P	SP	
	アドオン待機 750ms	 S Q	SQ	
終了(END)		 Z 7	Z7	—

5.4 Code39 の読取オプションの設定

Code 39 は、JIS-X-0503 として規格化されたシンボルで、主に産業分野で多く使われています。Code 39 の構成は次の通りです。





項目	概要
キャラクタセット	数字(0～9) 記号(-, スペース \$ / + %) 英字(A～Z)
スタート/ストップコード	*
桁数	可変長
CD 計算方法	モジュラス 43

転送データ形式

スタートコード *	データ 可変長	CD	ストップコード *
--------------	---------	----	--------------





5.4.1 CD 計算の設定

CD の計算をする/しないの設定です。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
選択	Code39 の CD 計算をしない	 C 0	C0	○
	Code39 の CD 計算をする	 C 1	C1	
終了(END)		 Z 7	Z7	—

5.4.2 CD 転送の設定

CDの転送をする/しないの設定です。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
択 一	Code39 の CD 転送をする		C2	○
	Code39 の CD 転送をしない		C3	
終了(END)			Z7	—

5.4.3 スタート/ストップコードの転送

スタート/ストップコードを転送する/しないの設定です。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
択 一	Code39 のスタート/ストップコードを転送する		D1	○
	Code39 のスタート/ストップコードを転送しない		D0	
終了(END)			Z7	—

5.5 Code93 の読取オプションの設定

Code93 は、USS-CODE93 として規格化されているシンボルコードです。

Code93 の構成は次の通りです。

項目	概要
キャラクタセット	数字、記号、英字、シフトコードの組合せで ASCII128 文字を表現。 -数字(0～9) -記号(-, スペース \$ / + %) -英字(A～Z) -シフトコード 4 種
スタート/ストップコード	非表示コード スタートコード "111141" ストップコードは"1111411"
桁数	可変長
CD 計算方法	モジュラス 47 2 桁

転送データ形式

データ 可変長	CD 2 桁
---------	--------

CD 転送

CD の転送は、必ず行います。

CD 計算

CD の計算は、必ず行います。

上記の通り、Code93 では、CD 転送及び計算は必ず行うため設定はありません。

5.6 NW7 の読取オプションの設定

NW7 の構成は次の通りです。







項目	概要
キャラクタセット	数字(0～9) 記号(- \$: / , +)
スタート/ストップコード	A, B, C, または D
桁数	可変長
CD 計算方法	一般的にはチェックデジットは不要

転送データ形式

スタートコード 1桁	データ 可変長	CD 1 桁	ストップコード 1桁
---------------	---------	--------	---------------


5.6.1 CD 計算の設定

NW7 においては、一般的には CD は不要です。CD を付加する場合には、次の計算方法を選択できます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
選択	CD 計算しない		F7	○
	モジュラス 10 ウェイト 1/2(仕様 1)で CD 計算する		FB	
	AIM 仕様モジュラス 16 で CD 計算する		F9	
	セブンチェック(7DR)で CD 計算する		F8	
終了(END)			Z7	—

5.6.2 CD 転送の設定

CD の転送をする/しないの設定ができます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
択 一	CD の転送をしない		F6	
	CD の転送をする		F5	○
終了(END)			Z7	—

5.6.3 スタート/ストップコードの転送

スタート/ストップの転送のする/しないの設定ができます。また、スタート/ストップコードを転送する際に、コードを変換して転送することができます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
択 一	スタート/ストップコードを 転送しない。	 F 0	F0	
	スタート/ストップコードを ABCD/TN*E で転送する。	 F 1	F1	
	スタート/ストップコードを abcd/tn*e で転送する。	 F 2	F2	
	スタート/ストップコードを ABCD で転送する。	 F 3	F3	
	スタート/ストップコードを abcd で転送する。	 F 4	F4	○
終了(END)		 Z 7	Z7	-

5.7 Interleaved 2of5 の読取オプションの設定

Interleaved 2of5 は、標準物流シンボル ITF として JIS-X-0502 で規格化されたシンボルです。

Interleaved 2of5 の構成は次の通りです。





項目	概要
キャラクタセット	数字(0～9)
スタート/ストップコード	非表示文字 スタートコード“0000” ストップコード“100”
桁数	可変長
CD 計算方法	モジュラス 10/ウェイト 3

転送データ形式

データ 可変長	CD
---------	----





5.7.1 CD 計算の設定

CD の計算をする/しないの設定ができます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
択 一	CD 計算しない	 G 0	G0	○
	CD 計算する	 G 1	G1	
終了(END)		 Z 7	Z7	-

5.7.2 CD 転送の設定

CD の転送をする/しないの設定ができます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
択 一	CD 転送する。		G2	○
	CD 転送しない。		G3	
終了(END)			Z7	—

5.8 Industrial 2of5 の読取オプションの設定

Industrial 2of5 の構成は次の通りです。




項目	概要
キャラクタセット	数字(0～9)
スタート/ストップコード	非表示文字 スタートコード"110" ストップコード"101"
桁数	可変長
CD 計算方法	モジュラス 10/ウェイト 3

転送データ形式

データ 可変長	CD
---------	----





5.8.1 CD 計算の設定

CD の計算をする/しないの設定ができます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
択 一	CD 計算しない	 G 0	G0	○
	CD 計算する	 G 1	G1	
終了(END)		 Z 7	Z7	—

5.8.2 CD 転送の設定

CD の転送をする/しないの設定ができます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
択 一	CD 転送する。		G2	○
	CD 転送しない。		G3	
終了(END)			Z7	—

5.9 IATA 2of5 の読取オプションの設定

IATA 2of5 は、航空チケット用として IATA1720a で規格化されたシンボルです。

IATA 2of5 の構成は次の通りです。

項目	概要
キャラクタセット	数字(0～9)
スタート/ストップコード	非表示文字
桁数	固定長
CD 計算方法	セブンチェック(7DR)

転送データ形式

CPN	AC	FC	SN	CD
-----	----	----	----	----

記号	意味	桁数
CPN	Coupon	1 桁
AC	Airline Code	3 桁
FC	Form Code	2 桁
SN	Serial Number	8 桁
CD	Check Digit	1 桁
ALL	計	15 桁





5.9.1 CD 計算の設定

CD の計算をする/しないの設定ができます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
選択	CD 計算しない	 D 2	D2	○
	(CPN+FC+SN)で CD 計算する	 D 3	D3	
	(FC+SN)で CD 計算する	 D 4	D4	
	(CPN+AC+FC+SN)で CD 計算する	 D 5	D5	
終了(END)		 Z 7	Z7	-

5.9.2 CD 転送の設定

CD の転送をする/しないの設定ができます。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
択 一	CD 転送する。		D6	○
	CD 転送しない。		D7	
終了(END)			Z7	—

5.10 Code128 の読取オプションの設定

Code128 は、USS-CODE128 として規格化されたシンボルです。ASCII128 文字をコード化できることから、Code128 と呼ばれています。

Code128 の構成は次の通りです。

項目	概要
キャラクタセット	ASCII128 文字 ファンクションキャラクタ(FNC1~4) コードセット選択キャラクタ(A, B, C, Shift)
スタート/ストップコード	非表示文字 スタートキャラクタ 3 種 (A,B,C)、スタートキャラクタ 1 種
桁数	可変長
CD 計算方法	モジュラス 103

転送データ形式

データ(可変長)

CD 計算

CD 計算は、必ず行います。

CD 転送

CD は転送しません。

5.11 UCC/EAN-128 の読取オプションの設定

UCC/EAN-128 は、物流の梱包番号、重量表示、出荷先などの共通コードを流通アプリケーション用シンボルとして規格化したアプリケーション規格です。近年、企業間物流の管理システムのための共通コード化、標準シンボル化のニーズが高まり、これを受ける形で流通情報システムの国際的な標準化機関である国際 EAN 協会場で開発・制定されました。

UCC/EAN-128 のエンコード仕様

UCC/EAN-128 のエンコード仕様は次の通りです。
 基本は、Code-128 です。
 スタートコードの後には、必ず FNC1 で始まります。
 「AI(アプリケーション識別子) + データフィールド」をエレメントストリングと呼びます。
 データフィールドは、1 つ以上のデータで構成されます。
 固定長データフィールドのための AI と可変長データフィールドのための AI とがあります。
 可変長データフィールドを持つエレメントストリングの後には、フィールドセパレータ(FNC1)を挿入します。但し、ラベルの最後となるエレメントストリングの場合にはフィールドセパレータは不要です。

UCC/EAN-128 ラベルフォーマット

スタートコード	FNC1	AI	データ 1	データ 2	データ 3	AI	データ 1	データ 2	データ 3	(FNC1) セパレータ フィールド	...	チェックデジット	ストップコード
			データフィールド (固定長)				データフィールド (可変長)						
		エレメントストリング			エレメントストリング								

AI(アプリケーション識別子)の種類とフィールドセパレータの対応

AI の種類	フィールドセパレータ(FNC1)	AI: アプリケーション識別子
固定長の AI	不要	最初の 2 桁が次の AI 00,01,02,03,04,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20,31,32,33,34,35,36,41
特殊な可変長の AI	不要	23n (n は、1~9) このとき、データフィールド長は、 2n+1 で求められます。 例: 231 の場合 データフィールド長は、 2x1+1=3
可変長の AI	必要 但し、ラベルの最後のエレメントストリングとなる場合は、 不要	上記以外の AI

5.11.1 UCC/EAN-128 の変換と出力モードの選択

UCC/EAN-128 の変換と出力モードの選択

UCC/EAN-128 の読取データを一見してデータ区切り位置を判別することは困難です。本スキャナでは、UCC/EAN-128 のデータ区切り位置やアプリケーション識別子(AI)を、判別し、区切り文字の付加や必要なデータのための抽出を行うことができます。本スキャナでは設定により、UCC/EAN-128 の変換を許可し、読取データの解析・出力方法を選択することができます。

利用目的に応じて次の出力モードを選択することができます。

出力モード	概要	主な利用方法
出力モード1	読取データから、指定したエレメントストリング中のデータフィールドのみを抽出し、指定されたフォーマットで出力します。	特定のデータフィールドのみを利用する場合
出力モード2	読取データ中の AI 部分を()で括って出力します。	AI 確認テスト用
出力モード3	読取データからデータフィールドのみを抽出し出力します。	UCC/EAN-128 ラベルの一般的な利用方法
出力モード4	先頭の FNC1 を"]C1"に変換します。その他のデータ(AI,データフィールド)は通常の Code 128 と同様に出力します。	ホスト側で UCC/EAN-128 の解析を行う場合
UCC/EAN-128 変換をしない	UCC/EAN-128 のバーコードを読み込んでも通常の Code 128 として出力します。	UCC/EAN-128 ラベルを利用しない場合

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	-
選択	UCC/EAN-128 変換をしない		/0	○
	UCC/EAN-128 変換をアナライズ出力モード1で行う		/1	
	UCC/EAN-128 変換をアナライズ出力モード2で行う		/2	
	UCC/EAN-128 変換をアナライズ出力モード3で行う		/3	
	UCC/EAN-128 変換をアナライズ出力モード4で行う		/4	
終了(END)			Z7	-

5.11.2 データ区切り文字の設定

データ区切り文字は UCC/EAN-128 専用に次の 5 種類が用意されています。それぞれ最大 2 桁まで設定できます。内容の設定は直接入力コードを使用することにより設定します。

メニューコード	内容	概要	初期設定	代表的な設定例
/W	データセパレータ	データフィールド内のデータとデータの区切り文字	無し	無し
/X	エレメントストリングセパレータ	エレメントストリングとエレメントストリングの区切り文字	無し	TAB キー等
/Y	可変長データ終端 FNC1 定義キャラクタ (2 つ目以降の FNC1)	通常 FNC1 はデータとして出力されません。FNC1 キャラクタを定義することで任意の文字で出力します。(注 1)	無し	無し
/1	出力モード 1 ヘッダ	出力モード 1 で選択された AI のエレメントストリングの直前に出力	無し	無し
	出力モード 1 ターミネータ	出力モード 1 で選択された AI のエレメントストリングの直後に出力	無し	無し

注 1) General EAN/UCC Specifications January/2000 Chapter7 Page23 に記載のフローチャートでカットされる FNC1 は含みません。

データセパレータ設定フォーマット

項目		メニューラベル	メニューコード	備考
1	開始(SET)	 Z 7	Z7	-
2	データセパレータを設定する	 / W	/W	
3	データセパレータ 1 桁目			直接入力コード表より選択します
4	データセパレータ 2 桁目			直接入力コード表より選択します
5	終了(END)	 Z 7	Z7	-

直接入力コードで\$00 を選択すると、設定無しとなります。

エレメントストリングセパレータ設定フォーマット

項目		メニューラベル	メニューコード	備考
1	開始(SET)		Z7	—
2	エレメントストリングセパレータを設定する		/X	
3	エレメントストリングセパレータ 1 桁目			直接入力コード表より選択します
4	エレメントストリングセパレータ 2 桁目			直接入力コード表より選択します
10	終了(END)		Z7	—

直接入力コードで\$00 を選択すると、設定無しとなります。

可変長データ終端のFNC1 定義キャラクタの設定フォーマット

項目		メニューラベル	メニューコード	備考
1	開始(SET)	 Z 7	Z7	-
2	可変長データ終端の FNC1 定義キャラクタ を設定する	 / Y	/Y	
3	定義キャラクタ 1 桁目			直接入力コード表より 選択します
4	定義キャラクタ 2 桁目			直接入力コード表より 選択します
5	終了(END)	 Z 7	Z7	-

直接入力コードで\$00 を選択すると、設定無しとなります。

出力モード1設定

出力仕様

読取データからユーザの指定する AI のデータフィールドのみを抽出し、指定されたフォーマットで出力します。

AI は最大 10 種類まで指定でき、その AI 毎に出力モード1ヘッダ(最大 2 桁)、ターミネータ(最大 2 桁)を設定することができます。

AI の種別中でデータの小数点位置を記しているもの(AI310 等)については、データに小数点を付加して出力します。

YYMMDD(日付)をそのまま出力します。

出力したデータにはエレメントストリング毎にヘッダ、ターミネータ(各最大 2 桁)が付加できます。

設定フォーマット

出力モード1の設定フォーマットを示します。

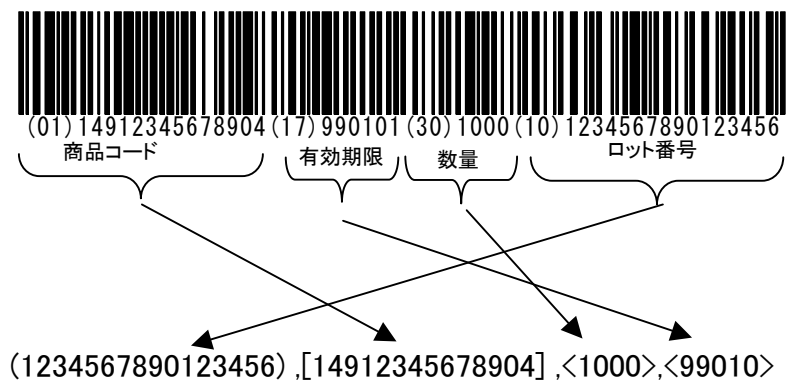
項目		メニューラベル	メニューコード	備考
1	開始(SET)		Z7	-
2	Code128 を読取許可		B6	
3	出力モード1を使用する		/1	
4	AI(アプリケーション識別子)を選択			AI メニューコード表より選択します。
5	ヘッダ 1 桁目			直接入力コード表より選択します
6	ヘッダ 2 桁目			直接入力コード表より選択します

項目		メニューラベル	メニューコード	備考
7	ターミネータ 1 桁目			直接入力コード表より選択します
8	ターミネータ 2 桁目			直接入力コード表より選択します
9	更に AI を選択する場合は、 4～8 項を繰り返し(最大 10 種類)			
10	終了 (END)	 Z 7	Z7	-

設定例

出力モード1の設定例を示します。

項目	内容	メニューコード
出力モード	出力モード1	/1
AI 選択 No.1	10 「ロット番号: n2+an..20」	/10FF
AI 選択 No.1 ヘッダ 1 桁目	"("	\$28
AI 選択 No.1 ヘッダ 2 桁目	無し	\$00
AI 選択 No.1 ターミネータ 1 桁目)"	\$29
AI 選択 No.1 ターミネータ 2 桁目	無し	\$00
AI 選択 No.2	01 「商品コード:n2+n14」	/01FF
AI 選択 No.2 ヘッダ 1 桁目	"["	\$5B
AI 選択 No.2 ヘッダ 2 桁目	無し	\$00
AI 選択 No.2 ターミネータ1桁目	"]"	\$5D
AI 選択 No.2 ターミネータ 2 桁目	無し	\$00
AI 選択 No.3	30 「数量:n2+n..8」	/30FF
AI 選択 No.3ヘッダ 1 桁目	"<"	\$3C
AI 選択 No.3 ヘッダ2桁目	無し	\$00
AI 選択 No.3 ターミネータ 1 桁目	">"	\$3E
AI 選択 No.3 ターミネータ 2 桁目	無し	\$00
AI 選択 No.2	17 「有効期限:n2+n6」	/17FF
AI 選択 No.4 ヘッダ 1 桁目	"<"	\$3C
AI 選択 No.4 ヘッダ2桁目	無し	\$00
AI 選択 No.4 ターミネータ 1 桁目	">"	\$3E
AI 選択 No.4 ターミネータ 2 桁目	無し	\$00
エレメントSTRINGセパレータ 設定	エレメントSTRINGセパレータ 設定	/X
エレメントSTRINGセパレータ 1 桁目	","	\$2C
エレメントSTRINGセパレータ 2 桁目	無し	\$00



出力モード 2 設定

出力仕様

この出力モードは、読取データの AI 部分を括弧()でくくって出力します。

データフィールド中のデータを出力します。

可変長データ終端 FNC1 定義キャラクタ(2 目以降の FNC1)を出力します。

AI の中でデータの小数点位置を記しているもの(AI 310 等)については、データに小数点を付加せず出力します。

YYMMDD(日付)をそのまま出力します。

データセパレータ、エレメントストリングセパレータを出力します。

設定フォーマット

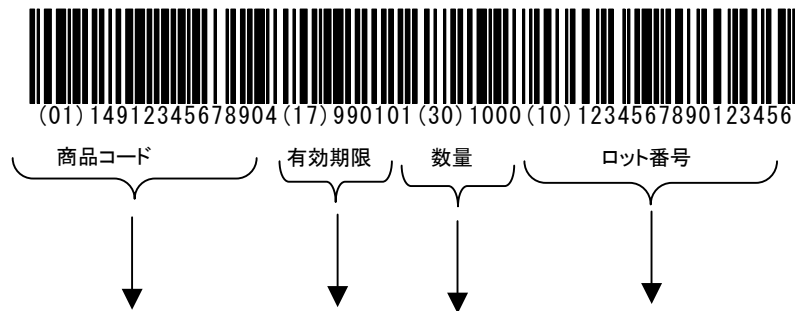
出力モード 2 の設定フォーマットを示します。

項目		メニューラベル	メニューコード	備考
1	開始(SET)		Z7	-
2	Code128 を読取許可		B6	
3	出力モード 2 を使用する		/2	
4	終了(END)		Z7	-

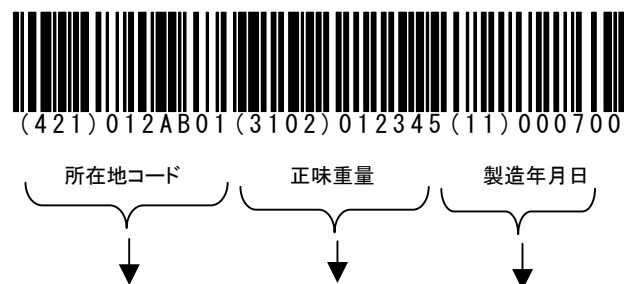
設定例

出力モード 2 の設定例を示します。

項目	内容	メニューコード
出力モード	出力モード 2	/2
エレメントストリングセパレータ	有り	/X
エレメントストリングセパレータ 1 桁目	“,”	\$2C
エレメントストリングセパレータ 2 桁目	無し	\$00
データセパレータ	有り	/W
データセパレータ 1 桁目	“/”	\$2F
データセパレータ 2 桁目	無し	\$00
可変長データ終端の FNC1 キャラクタ定義	無し	/Y
可変長データ終端の FNC1 キャラクタ定義 1 桁目	無し	\$00
可変長データ終端の FNC1 キャラクタ 2 桁目	無し	\$00



(91)14912345678904.(17)990101.(30)1000(10)1234567890123456



(421)012/AB01.(3102)012345.(11)000700

出力モード 3 設定

出力仕様

この出力モードは、読取データから AI 部分のデータフィールドのみを抽出し指定されたフォーマットで出力します。

AI の中でデータの小数点位置を記しているもの(AI 310 等)については、データに小数点を付加せず出力します。

YYMMDD(日付)をそのまま出力します。

設定フォーマット

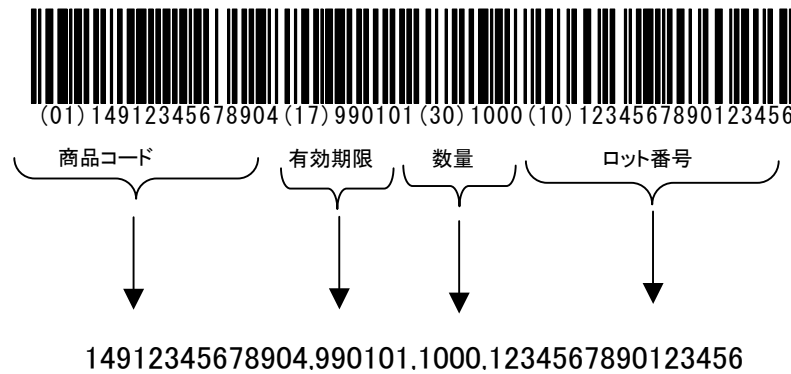
出力モード 3 の設定フォーマットを示します。

項目		メニューラベル	メニューコード	備考
1	開始(SET)	 Z 7	Z7	—
2	Code128 を読取許可	 B 6	B6	
3	出力モード 3 を使用する	 / 3	/3	
4	終了(END)	 Z 7	Z7	—

設定例 1

出力モード 3 の設定例 1 を示します。

項目	内容	メニューコード
出力モード	出力モード 3	/3
エレメントストリングセパレータ	有り	/X
エレメントストリングセパレータ 1 桁目	“,	\$2C
エレメントストリングセパレータ 2 桁目	無し	\$00
データセパレータ	有り	/W
データセパレータ 1 桁目	“/”	\$2F
データセパレータ 2 桁目	無し	\$00

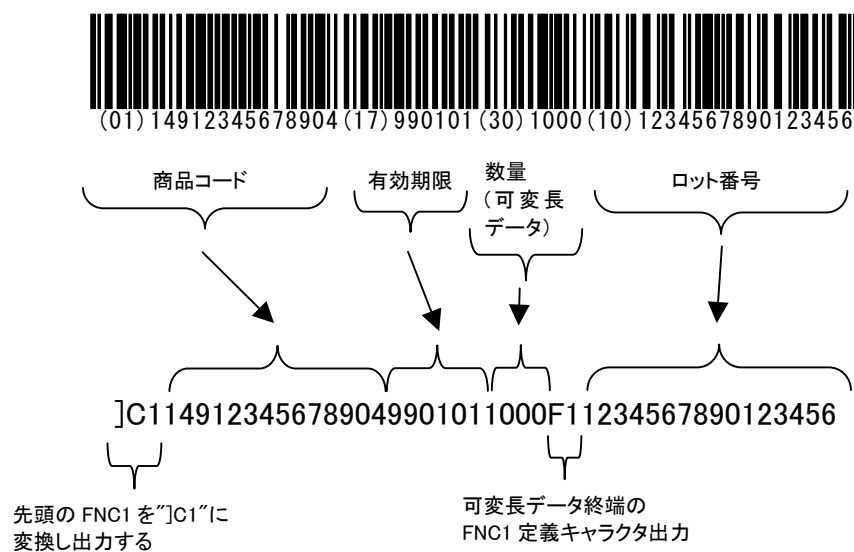


設定例 2

出力モード 3 の設定例 2 を示します。

この設定例は、出力モード 3 の設定に加えて、先頭の"]C1"を出力、可変長データ終端の FNC1 定義キャラクタを出力する設定です。

項目	内容	メニューコード
出力モード	出力モード 3	/3
先頭の"]C1"を出力する	有り	/Q
可変長データ終端の FNC1 定義キャラクタ	有り	/Y
可変長データ終端の FNC1 定義キャラクタ 1 桁目	"F"	\$46
可変長データ終端の FNC1 定義キャラクタ 2 桁目	"1"	\$31



出力モード 4 設定

出力仕様

この出力モードでは、CODE-128 でスタートコード+FNC1 で始まるならば UCC/EAN-128 として認識します。

AI などの解析を行いません。従って、出力モードオプションとして設定できるメニューコードは、/A、/B、/Q、/R、/Y、/Z のみとなります。

先頭の FN1 を"]C1"に変換出力します。

2 つ目以降の FNC1 を変換出力します。

Ctrl+]キーとして変換出力します。

AI の中でデータの小数点位置を記しているもの(AI 310 等)については、データに小数点を付加せず出力します。

YYMMDD(日付)をそのまま出力します。

設定フォーマット

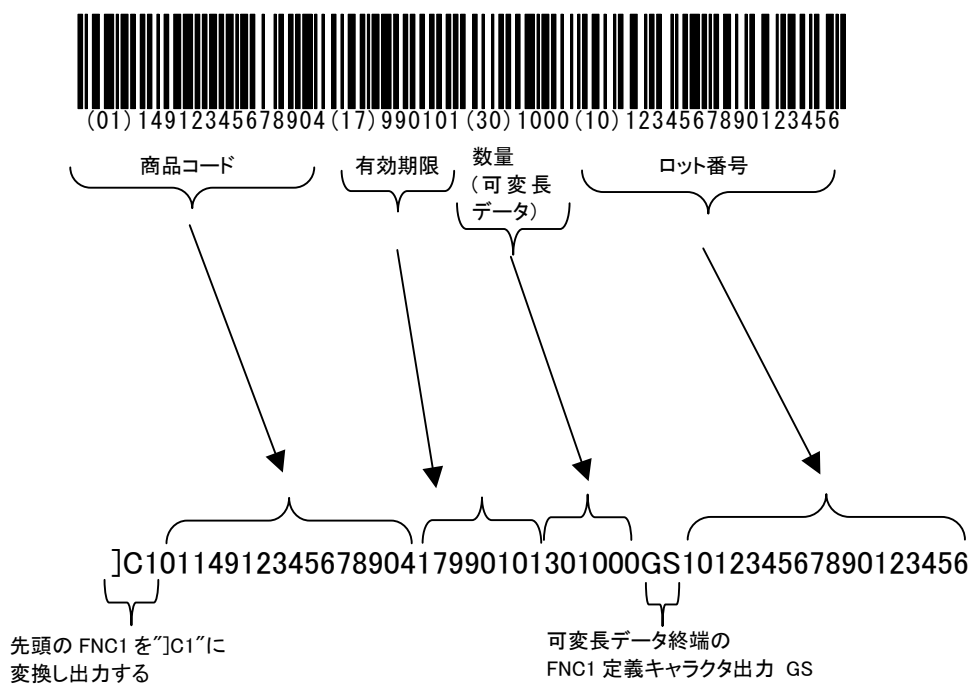
出力モード 4 の設定フォーマットを示します。

項目		メニューラベル	メニューコード	備考
1	開始(SET)	 Z 7	Z7	-
2	Code128 を読取許可	 B 6	B6	
3	出力モード 4 を使用する	 / 4	/4	
4	終了(END)	 Z 7	Z7	-

設定例

出力モード 4 の設定例を示します。

項目	内容	メニューコード
出力モード	出力モード 4	/4
先頭の"]C1"を出力する	有り	/Q



5.12 MSI/Plessey の読取オプションの設定

MSI/Plessey は、主に欧米で使われているシンボルで、商品棚のマーキングに使用されています。MSI/Plessey の構成は次の通りです。

項目	概要
キャラクタセット	数字(0~9)
スタート/ストップコード	非表示文字(スタートコード"10"、ストップコード"010")
桁数	可変長
CD 計算方法	モジュラス 10 MSI

転送データ形式

データ (可変長)	CD 1 1桁	CD2 1桁
-----------	---------	--------

CD 計算

MSI/Plessey では、CD は必須です。CD1は、データに対しモジュラス 10 で計算され、CD2 は計算されません。

CD 転送

MSI/Plessey では CD1 及び CD2 のいずれも転送されません。

5.13 二次元コードの読取オプションの設定

PDF417 の概要

PDF417 は 1989 年に開発されたスタック型二次元コードです。

最大情報量は英数字 1850 字、数字 2710 桁、1108 バイトと、高密度の圧縮が可能です。また、シンボルは可変可能な段数により、最小 3 段、最大 90 段の連続多段型(スタック型)で構成されています。各スタックはスタート、ストップパターン、左右の段インジケータ、及び 1~30 個のシンボルキャラクタで構成されています。さらに、シンボルには、シミ、汚れ等が発生した場合でも精確に読取るためのエラー訂正機能があり、使用環境に応じてレベルを設定することができます。



PDF417 の概要

項目	概要
キャラクタセット	FULL ASCII コード(英数字記号、制御コード) バイナリコード(漢字、図形、画像、音声等)
桁数	可変長 英数字 1850 字(最大) 数字 2710 桁(最大) 漢字 554 字(最大)

転送データ形式

可変長データ

MicroPDF417 の概要

MicroPDF417 は、1994 年に開発されたスタック型二次元コードで PDF417 を簡略化し、小型化したものです。最大情報量は英数字 250 字、数字 366 桁、150 バイトです。また、エラー訂正レベルは、カラム数と行数に応じて決められます。



PDF417 の概要

項目	概要
キャラクタセット	FULL ASCII コード(英数字記号、制御コード) バイナリコード(漢字、図形、画像、音声等)
桁数	可変長 英数字 250 字(最大) 数字 366 桁(最大)

転送データ形式

可変長データ





5.13.1 旧規格 PDF417 の読取の設定

PDF417 及び MicroPDF417 の読取において、旧規格(1994 年)でエンコードされた PDF417 を読取する場合に読取許可の設定にします。初期設定は、読取禁止です。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
択一	旧規格の PDF417 を読取許可する		BBP	
	旧規格の PDF417 を読取許可しない		BBQ	○
終了(END)			Z7	—

5.13.2 Code128 エミュレーションの設定

MicroPDF417 の読取において、Code128 エミュレーションを有効とする場合に設定します。初期設定は、読取禁止です。シンボル識別子(AIM CODE ID)を出力する設定としている場合に Code128 のシンボル識別子を出力します。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
択 一	MicroPDF417 の Code128 エミュレーションを行う	 B B N	BBN	
	MicroPDF417 の Code128 エミュレーションを行わない	 B B 0	BB0	○
終了(END)		 Z 7	Z7	—

QR Code の概要

QR Code は 1994 年に開発されたマトリックス型二次元コードです。

(モデル 1)

オリジナル仕様の QR Code です。QR Code を構成する最小単位をセルと呼び、セルの数で QR コードのバージョンが決まります。21×21 セルで構成されたバージョン1から73×73 セルのバージョン 14 までがあります。バージョンが1つあがるごとに4セルずつ大きくなります。



(モデル 2)

位置補正機能を高め、大容量データにも対応した機能拡張仕様です。モデル 2 ではセル数が 21×21 セルから4セル間隔に177×177セルまでの40個のバージョンがあります。



QR コードの概要

項目	モデル1	モデル2
バージョン	1～14	1～40
キャラクタ セット	ASCII コード(英数字記号) バイナリコード(漢字、図形、画像、音声等)	
桁数	可変長 英数字 707 字(最大) 数字 1167 桁(最大) 漢字 299 字(最大)	可変長 英数字 4296 字(最大) 数字 7089 桁(最大) 漢字 1817 字(最大)
エラー訂正 機能	レベル L(約 7%) レベル M(約 15%):Image7-USB レベル Q(約 25%) レベル H(約 30%)	

転送データ形式

可変長データ

Data Matrix Code の概要

Data Matrix Code は 1987 年に開発されたマトリックス型二次元コードです。
ECC000、ECC050、ECC080、ECC100、ECC140 の旧バージョンと誤り訂正方式をリードソロモンに変更し、歪み補正機能が付加された ECC200 バージョンがあります。

(ECC000～140)

セルサイズが 9×9 から 49×49 のシンボルで必ず奇数のセルになっています。エラー訂正レベルは、ECC000 が 0%、ECC050 が 2.8%、ECC080 が 5.5%、ECC100 が 12.6%、ECC140 が 25%です。

(ECC200)

セルサイズは 10×10 から 144×144 の 24 種類があり、必ず偶数セルとなっています。エラー訂正レベルは、28%から 62.5%までシンボルサイズによって異なり、シンボルが小さくなるほどレベルは高くなります。

Data Matrix Code(ECC200)の概要

項目	ECC200 バージョン
キャラクタ セット	ASCII コード(英数字記号) バイナリコード(漢字、図形、画像、音声等)
桁数	可変長 英数字 2335 字(最大) 数字 3116 桁(最大) バイナリー 1556 バイト(最大)
エラー訂正 機能	誤り訂正率 28.5%～62.5%

転送データ形式

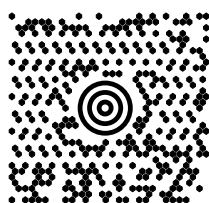
可変長データ

Maxi Code の概要

Maxi Code は 1987 年に開発されたマトリックス型二次元コードです。他種のマトリックスコードが正方形のセルであるのに対し、Maxi Code では 6 角形のセル(モジュール)を使用しています。縦横 3×2 の計 6 個のモジュールで 1 つのコードワードを構成しています。

データとエラー訂正コードは 144 コードワードに相当する 864 のモジュールで構成されています。最初の 120 モジュール(=20 コードワード)は 1 次メッセージとして基本データがエンコードされます。その後の 744 モジュール(=124 コードワード)は 2 次メッセージとして各種の情報をエンコードします。

エンコードは数字モードと ASCII 値(0~127)モード、拡張 ASCII 値(128~255)モードの 3 種が可能です。最大情報量は英数字 93 字/数字 138 桁となります。



(転送データ形式)

可変長データ

Aztec Code の概要

Aztec Code は 1995 年に開発されたマトリックス型二次元コードです。この名前は、切出しシンボルがアステカ文明のピラミッドに似ていることから命名されています。高い情報化密度、誤り訂正能力を有しています。Full-Range モードと Compact モードがあります。



Full-Range モード



Compact モード

Aztec Code の概要

項目	Full Range モード	Compact モード
キャラクタ セット	ASCII コード(英数字記号) バイナリコード	ASCII コード(英数字記号) バイナリコード
桁数	可変長 英数字 3067 字(最大) 数字 3832 桁(最大) バイナリ 1914 バイト(最大)	可変長 英数字 89 字(最大) 数字 110 桁(最大) バイナリ 53 バイト(最大)
エラー訂正 機能	誤り訂正率 1%~99%	

転送データ形式

可変長データ

(Aztec Runes)

サブセットとして、数値 0~255 を表すことができる Aztec Runes があります。



Aztec Runes の概要

項目	Aztec Runes
キャラクタ セット	数値 000~255
桁数	3 桁固定

転送データ形式

固定長データ(3 桁)

5.14 RSS ファミリーの読取オプションの設定

RSS ファミリーの概要

JAN コード等の共通商品コードラベルを表示する面積が無い小物商品での商品識別を実現するために 1996 年に開発された省スペース型一次元コードが RSS (Reduced Space Symbology) です。RSS-14、RSS-Limited、RSS-Expanded の3種類があります。いずれのタイプも 14 桁で取引単位の商品コードを統一的に表現するグローバル・トレード・アイテム・ナンバー (GTIN) を表示します。

RSS-14 の概要

RSS-14 は、標準の省スペース型一次元コードです。

項目	概要
キャラクタセット	数字(0~9)
桁数	固定長 14 桁
CD 計算方法	EAN/UPC モジュラス 10

転送データ形式

01 (AI)	データ固定長 13 桁	CD 1 桁
------------	-------------	--------

- ・先頭の“01”は AI(アプリケーション識別子)でデータ転送時に付加されます。
- ・CD は、バーコード中には含まれません。データ転送時に計算・付加されます。

RSS-14 には、様々な用途に対応するために標準型の他に 3 つのバリエーションがあります。転送データ形式は、いずれのバリエーションも標準型と同じです。

RSS-14 のバリエーション

- ・RSS-14 Truncated
細長い印字スペースに対応するために、高さを制限したものです。
- ・RSS-14 Stacked
印字スペースが極めて少ない製品に対応するために、標準の第 2 キャラクタと第 4 キャラクタとの間で段を区切り、2 段に重ねシンボルの幅を小さくしたものです。
- ・RSS-14 Stacked Omnidirectional
RSS-14 Stacked をオムニディメンショナル(マルチ)スキャナで読取可能とするようにしたものです。

RSS-Limited の概要

RSS-Limited は、最も小さな省スペースシンボルです。主に農産物のバラ売りに使用されます。

RSS-Limited の構成は次の通りです。

項目	概要
キャラクタセット	数字(0～9)
桁数	固定長 14 桁
CD 計算方法	モジュラス 10

転送データ形式

01 (AI)	データ固定長 13 桁	CD 1 桁
------------	-------------	--------

- ・先頭の“01”は AI(アプリケーション識別子)でデータ転送時に付加されます。
- ・CD は、バーコード中には含まれません。データ転送時に計算・付加されます。

RSS-Expanded の概要

RSS-Expanded は、RSS-14 のデータに有効期限やロット番号等の補足データを付加することができます。補足データは EAN-128 と同様にアプリケーション識別子により複数のデータを連結することができます。主に肉、魚、果物などの計り売りに使用されます。

RSS-Expanded の構成は次の通りです。

項目	概要
キャラクタセット	数字(0～9) 英数大小文字(A～Z,a～z) スペース 20 種類の記号(! " % & ' () * + , - . / : ; < = > ? _) ファンクションキャラクタ(FNC1)
桁数	可変長 数字 最大 74 桁(AI 含む) 英記号 最大 41 文字
CD 計算方法	モジュラス 10

転送データ形式

AI	GTIN 14 桁	補足データ
01	13 桁	CD 1 桁
可変長データ	可変長データ(AI+データ)	

- ・先頭の“01”は AI(アプリケーション識別子)でデータ転送時に付加されます。
- ・CD は、バーコード中には含まれません。データ転送時に計算・付加されます。




RSS-Expandedのバリエーション

RSS-Expanded のバリエーションとして、印字幅に制限がある場合に対応するために多段シンボルにした RSS-Expanded Stacked があります。

段数は最大 11 段で、1 段は 2 シンボルキャラクタから最大 20 シンボルキャラクタまで可能です。


5.14.1 CD 転送の設定

RSS ファミリーにおいて GTIN の CD 部(14 桁目)の転送をする/しないの設定です。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
択一	RSS の CD 転送をしない		DM	
	RSS の CD 転送をする		DL	○
終了(END)			Z7	—

5.14.2 先頭 AI(01)の転送設定

RSS ファミリーにおいて先頭 AI(01)の転送をする/しないの設定です。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
択 一	RSS の先頭 AI(01)を転送しない	 D T	DT	
	RSS の先頭 AI(01)を転送する	 D S	DS	○
終了(END)		 Z 7	Z7	—

5.15 コンポジットコードの読取オプション設定

コンポジットコードの概要

コンポジットコードは、UCC/EAN 協会が開発された最新の省スペースシンボルで、商品コードを表すバーコードの上に有効期限等の付加情報表す二次元コードを付加した複合シンボルです。

コンポジットコードのベースとなる商品コードを表すバーコードをリニアコンポーネントと呼び、EAN、UPC、RSS、UCC/EAN-128 の4種類が使用されます。付加情報として2次元コードのPDF417 または MicroPDF417 が使用されます。この付加情報のための二次元コードをコンポジットコンポーネント(CC)と呼び、CC-A、CC-B、CC-C の3種類のタイプがあります。

コンポジットコンポーネント(CC)の種類

種類	CC-A	CC-B	CC-C
二次元コード	変形 MicroPDF417	MicroPDF417	PDF417
付加情報の内容	有効期限やロット番号等の補足情報	比較的大きな付加情報	大きな付加情報
最大情報量	2列または3列 数字 46 桁 4列 数字 56 桁	数字 338 桁	数字 2361 桁

コンポジットコードは、リニアコンポーネントとコンポジットコンポーネントの組合せにより次のタイプがあります。

(EAN コンポジット)

- ・EAN-13 CC-A ・EAN-13 CC-B
- ・EAN-8 CC-A ・EAN-8 CC-B



EAN-13 CC-A



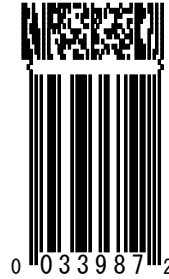
EAN-13 CC-B

(UPC コンポジット)

- UPC-A CC-A •UPC-A CC-B
- UPC-E CC-A •UPC-E CC-B



UPC-A CC-A



UPC-E CC-B

(RSS コンポジット)

- RSS-14 Standard CC-A •RSS-14 Standard CC-B
- RSS-14 Truncated CC-A •RSS-14 Truncated CC-B
- RSS-14 Stacked CC-A •RSS-14 Stacked CC-B
- RSS-14 Stacked Omni-directional CC-A •RSS-14 Stacked Omni-directional CC-B
- RSS-Limited CC-A •RSS-Limited CC-B
- RSS-Expanded Standard CC-A •RSS-Expanded Standard CC-B
- RSS-Expanded Stacked CC-A •RSS-Expanded Stacked CC-B



RSS-14 Standard CC-A



RSS-14 Stacked CC-B

(UCC/EAN-128 コンポジット)

- UCC/EAN-128 CC-A •UCC/EAN-128 CC-B •UCC/EAN-128 CC-C



UCC/EAN-128 CC-C

(転送データ形式)

リニアコンポーネントデータに続き、コンポジットコンポーネントのデータが転送されます。

リニアコンポーネント データ	コンポジットコンポーネント データ
-------------------	----------------------

5.15.1 UPC/EAN コンポジットコードの設定

UPC/EAN コンポジットコードは、UPC-A、UPC-E、EAN-13、または、EAN-8 をリニアコンポーネントとして MiroPDF417 等のコンポジットコンポーネントと「リンク」してコンポジットコードとしますが、この読取において次のオプションがあります。

・「UPC/EAN コードを自動リンクする。」

コンポジットコンポーネントを検出した場合には、UPC/EAN コンポジットコードとして読取ります。もし、コンポジットコンポーネントを検出できなかった場合には、UPC/EAN コードとして読取ります。

・「UPC/EAN コードをリンクしない。」

コンポジットコンポーネントを検出したか否かに関わらず、UPC/EAN コードとして読取ります。

・「UPC/EAN コードを強制リンクする。」

コンポジットコンポーネントを検出した場合のみ、UPC/EAN コンポジットコードとして読取ります。コンポジットコンポーネントを検出できなかった場合には、読取りされません。

尚、JAN コード(先頭 49 または 45)は対象外です。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	-
選択	UPC/EANコードを自動リンクする		BCA	○
	UPC/EANコードをリンクしない		BCB	
	UPC/EANコードを強制リンクする		BCC	
終了(END)			Z7	-

5.15.2 RSS コンポジットコードの設定

RSS コンポジットコードは、RSS ファミリコードをリニアコンポーネントとして MiroPDF417 等のコンポジットコンポーネントと「リンク」してコンポジットコードとしますが、この読取において次のオプションがあります。

- ・「RSS ファミリコードを自動リンクする。」
コンポジットコンポーネントを検出した場合には、RSS コンポジットコードとして読取ります。もし、コンポジットコンポーネントを検出できなかった場合には、RSS ファミリコードとして読取ります。
- ・「RSS ファミリコードをリンクしない。」
コンポジットコンポーネントを検出したか否かに関わらず、RSS ファミリコードとして読取ります。
- ・「RSS ファミリコードを強制リンクする。」
コンポジットコンポーネントを検出した場合のみ、RSS コンポジットコードとして読取ります。コンポジットコンポーネントを検出できなかった場合には、読取られません。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	-
選択	RSS ファミリコードを自動リンクする		BCI	○
	RSS ファミリコードをリンクしない		BCJ	
	RSS ファミリコードを強制リンクする		BCK	
終了(END)			Z7	-

5.15.3 UCC/EAN-128 コンポジットコードの設定

UCC/EAN-128 コンポジットコードは、UCC/EAN-128 コードをリニアコンポーネントとして MiroPDF417 等のコンポジットコンポーネントと「リンク」してコンポジットコードとしますが、この読取において次のオプションがあります。

- ・「UCC/EAN-128 コードを自動リンクする。」
コンポジットコンポーネントを検出した場合には、UCC/EAN-128 コンポジットコードとして読取ります。もし、コンポジットコンポーネントを検出できなかった場合には、UCC/EAN-128 コードとして読取ります。
- ・「UCC/EAN-128 コードをリンクしない。」
コンポジットコンポーネントを検出したか否かに関わらず、UCC/EAN-128 コードとして読取ります。
- ・「UCC/EAN-128 コードを強制リンクする。」
コンポジットコンポーネントを検出した場合のみ、UCC/EAN-128 コンポジットコードとして読取ります。コンポジットコンポーネントを検出できなかった場合には、読取りされません。

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	-
択一	UCC/EAN-128 コードを自動リンクする		BCE	○
	UCC/EAN-128 コードをリンクしない		BCF	
	UCC/EAN-128 コードを強制リンクする		BCG	
終了(END)			Z7	-

第6章 データ出力オプション

本スキャナでは、読取データを上位装置に転送する際に、プリフィックスやサフィックスを付加する等、データ出力形式を指定して転送することができます。本章では、データ出力形式に関する設定について説明します。

転送データ形式

コモン プリフィックス	コード別 プリフィックス	コード長 (桁数)	読取データ	コード別 サフィックス	コモン サフィックス
----------------	-----------------	--------------	-------	----------------	---------------

各データ出力オプションの説明

設定名	説明	最大桁数	初期設定
コモンプリフィックス	全コードに共通で転送データの先頭に付加される文字列	8 桁	転送しない
コード別プリフィックス	読取コード別に付加される先頭文字列 コード長(桁数)が転送される場合は、コード長(桁数)の前に付加されます	4 桁	転送しない
コード長(桁数)	読取データの前に付加される読取データのコード長(桁数) 1次元コードのみが対象 RSS、2次元コード、コンポジットコードは対象外	2 桁	転送しない
読取データ	読取データ	80 桁	各読取コードの設定による
コード別サフィックス	読取コード別に読取データに付加される後置文字列	4 桁	(RS-232C 接続の場合) CR (キーボード、USB 接続の場合) ENTER キー
コモンサフィックス	全コード共通で転送データの最後に付加される文字列	8 桁	転送しない

6.1 データ出力オプションの初期設定

データ出力オプションの初期設定は、次の通りです。

読取コード種別 (共通)	機能	初期設定	備考
共通	読取失敗メッセージの 転送設定	禁止	
	コモンプリフィックス 設定	なし	
	コモンサフィックス 設定	なし	

読取コード種別 (一次元コード)	機能	初期設定	備考
UPC-A	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
UPC-A アドオン 2 桁	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
UPC-A アドオン 5 桁	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
UPC-E	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
UPC-E アドオン 2 桁	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
UPC-E アドオン 5 桁	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	

読取コード種別 (一次元コード)	機能	初期設定	備考
JAN/EAN-13	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
JAN/EAN-13 アドオン 2 桁	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
JAN/EAN-13 アドオン 5 桁	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
JAN/EAN-8	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
JAN/EAN-8 アドオン 2 桁	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
JAN/EAN-8 アドオン 5 桁	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	

読取コード種別 (一次元コード)	機能	初期設定	備考
Code39	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
NW7	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
Interleaved 2of5	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
Interleaved 2of5	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
Interleaved 2of5	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	

読取コード種別 (一次元コード)	機能	初期設定	備考
IATA 2of5	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
Code93	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
MSI/Plessey	コード長(桁数)転送	禁止	
	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	

読取コード種別 (二次元コード)	機能	初期設定	備考
PDF417 ・PDF417 ・MicroPDF417	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
QR Code	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
Data Matrix Code	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
Maxi Code	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	
Aztec Code ・Aztec Code ・Aztec Runes	プリフィックス設定	なし	
	サフィックス設定	Enter キー	

読取コード種別 (RSS ファミリー)	機能	初期設定	備考
RSS-ファミリー	プリフィックス設定	なし	
RSS-14 <ul style="list-style-type: none"> • Standard (標準) • Truncated • Stacked • Stacked Omnidirectional 	サフィックス設定	Enter キー	
RSS-Limited			
RSS-Expanded <ul style="list-style-type: none"> • Standard • Stacked 			

読取コード種別 (Composite Code)	機能	初期設定	備考
Composite EAN <ul style="list-style-type: none"> • EAN-13 CCA • EAN-13 CCB • EAN-8 CCA • EAN-8 CCB 	プリフィックス設定	なし	
Composite UPC <ul style="list-style-type: none"> • UPC-A CCA • UPC-A CCB • UPC-E CCA • UPC-E CCB 	サフィックス設定	Enter キー	
Composite RSS <ul style="list-style-type: none"> • RSS-14 CCA/CCB • RSS-Limited CCA/CCB • RSS-Expanded CCA/CCB 			
Composite UCC/EAN-128 <ul style="list-style-type: none"> • UCC/EAN-128 CCA • UCC/EAN-128 CCB • UCC/EAN-128 CCC 			

6.2 コモンプリフィックスの設定

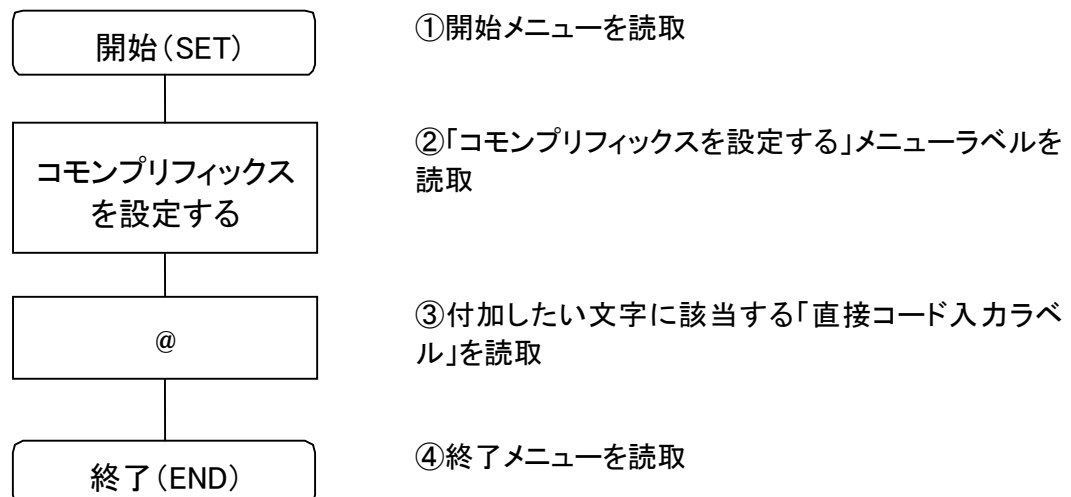
コモンプリフィックスの設定を行います。設定には、「コモンプリフィックスを設定する」のメニューラベルを読取後、付加したい文字に該当する「直接コード入力メニューラベル」を読取ります。最大 8 桁の文字が設定できます。


設定例 --- 全ての読取データの先頭に@を付加して出力します。

転送データ形式

@	全ての読取データ
---	----------

設定フロー



機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
コモンプリフィックスを設定する		 M A	MA	
必要文字数分選択 最大8桁	(1桁目) 直接コード入力ラベルを入力する			設定なし
	(2桁目) 直接コード入力ラベルを入力する			設定なし
	(3桁目) 直接コード入力ラベルを入力する			設定なし
	(4桁目) 直接コード入力ラベルを入力する			設定なし
	(5桁目) 直接コード入力ラベルを入力する			設定なし

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
必要文字数分選択最大8桁	(6桁目) 直接コード入力ラベルを入力する			設定なし
	(7桁目) 直接コード入力ラベルを入力する			設定なし
	(8桁目) 直接コード入力ラベルを入力する			設定なし
終了(END)		 Z 7	Z7	—

6.3 コモンサフィックスの設定

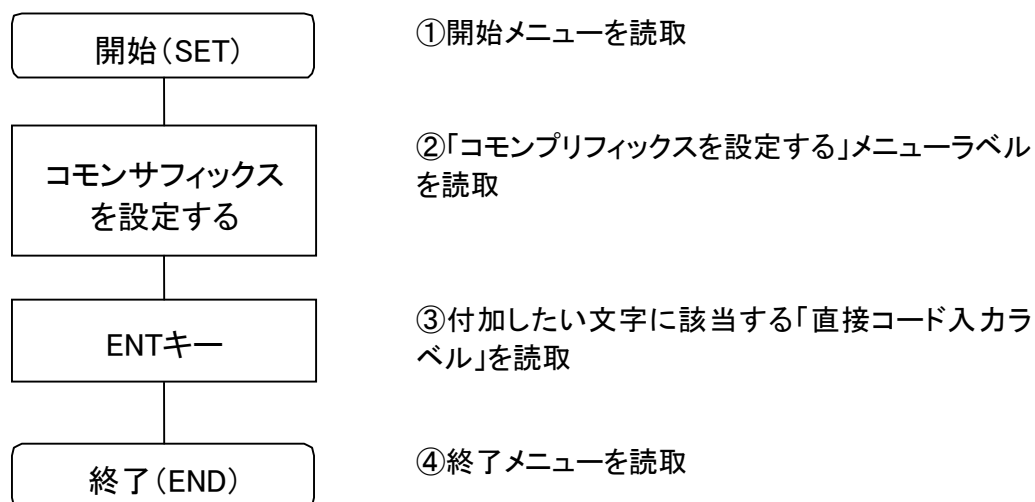
コモンサフィックスの設定を行います。設定には、「コモンサフィックスを設定する」のメニューラベルを読取後、付加したい文字に該当する「直接コード入力メニューラベル」を読取ります。最大8桁の文字が設定できます。

設定例 --- 全ての読取データの先頭に@を付加して出力します。

転送データ形式

全ての読取データ	ENT キー
----------	--------

設定フロー







機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
コモンサフィックスを設定する		 0 A	0A	
必要文字数分選択 最大8桁	(1 桁目) 直接コード入力ラベルを選択			設定なし
	(2 桁目) 直接コード入力ラベルを選択			設定なし
	(3 桁目) 直接コード入力ラベルを選択			設定なし
	(4 桁目) 直接コード入力ラベルを選択			設定なし
	(5 桁目) 直接コード入力ラベルを選択			設定なし

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
必要文字数分選択 最大8桁	(6桁目) 直接コード入力ラベルを選択			設定なし
	(7桁目) 直接コード入力ラベルを選択			設定なし
	(8桁目) 直接コード入力ラベルを選択			設定なし
終了(END)		 z 7	Z7	-

6.4 コモンプリフィックス/コモンサフィックスのクリア設定

設定されたコモンプリフィックスまたはコモンサフィックスのクリアを行います。

機能		メニューラベル	メニューコード	備考
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
複数選択可	コモンプリフィックスをクリアする	 M Z	MZ	
	コモンサフィックスをクリアする	 0 Z	0Z	
終了(END)		 Z 7	Z7	—

6.5 コード別プリフィックス/サフィックスのクリア設定

本設定により全てのコード別プリフィックスまたはサフィックスをクリアします。

機能		メニューラベル	メニューコード	備考
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
複数選択可	全てのコード別プリフィックスをクリアする	 1 Y	1Y	
	全てのコード別サフィックスをクリアする	 1 Z	1Z	
終了(END)		 Z 7	Z7	—

6.6 UPC-A のプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
複数選択可	UPC-A のプリフィックスを設定する	 N 1	N1	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)		 Z 7	Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可	UPC-A のサフィックスを設定する	 N 6	N6	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了 (END)		 Z 7	Z7	-

サフィックスの初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.7 UPC-A アドオンのプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
複数選択可	UPC-A アドオンのプリフィックスを設定する	 M 0	M0	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)		 Z 7	Z7	-

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	UPC-A アドオンのサフィックスを設定する		00	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.8 UPC-E のプリフィックス/サフィックス設定


機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
複数選択可 最大 4桁	UPC-E のプリフィックスを設定する	 N 2	N2	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)		 Z 7	Z7	—


機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	UPC-E のサフィックスを設定する	 N 7	N7	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)		 Z 7	Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.9 UPC-E アドオンのプリフィックス/サフィックス設定


機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	UPC-E アドオンのプリフィックスを設定する		M1	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	UPC-E アドオンのサフィックスを設定する		01	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.10 JAN/EAN-13 のプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大 4桁	JAN/EAN-13 のプリフィックスを設定する		N3	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	JAN/EAN-13 のサフィックスを設定する		N8	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.11 JAN/EAN-13 アドオンのプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	JAN/EAN-13 アドオンのプリフィックスを設定する		M2	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可	JAN/EAN-13 アドオンのサフィックスを設定する		02	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	終了(END)		Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.12 JAN/EAN-8 のプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	JAN/EAN-8 のプリフィックスを設定する		N4	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	JAN/EAN-8 のサフィックスを設定する		N9	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.13 JAN/EAN-8 アドオンのプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	JAN/EAN-8 アドオンのプリフィックスを設定する		M3	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	JAN/EAN-8 アドオンのサフィックスを設定する		03	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.14 Code39 のプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	Code39 のプリフィックスを設定する		M4	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	Code39 のサフィックスを設定する		04	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.15 NW7 のプリフィックス/サフィックス設定


機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大 4 桁	NW7 のプリフィックスを設定する		M5	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	NW7 のサフィックスを設定する		05	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.16 Interleaved 2of5 のプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	Interleaved 2of5 のプリフィックスを設定する		M7	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	Interleaved 2of5 のサフィックスを設定する	 0 7	07	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)		 Z 7	Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.17 Industrial 2of5 のプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	Industrial 2of5 のプリフィックスを設定する		M6	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	Industrial 2of5 のサフィックスを設定する		06	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.18 IATA 2of5 のプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	IATA 2of5 のプリフィックスを設定する		D8	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	IATA 2of5 のサフィックスを設定する		D9	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.19 Code93 のプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
複数選択可 最大 4桁	Code93 のプリフィックスを設定する	 M 8	M8	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)		 Z 7	Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	Code93 のサフィックスを設定する		08	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.20 Code128 のプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	Code128 のプリフィックスを設定する		M9	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	Code128 のサフィックスを設定する	 0 9	09	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)		 Z 7	Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.21 MSI/Plessey のプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	MSI/Plessey のプリフィックスを設定する		N0	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	MSI/Plessey のサフィックスを設定する		N5	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.22 PDF417 のプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大 4桁	PDF417のプリフィックスを設定する		8I	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	PDF417のサフィックスを設定する		8J	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.23 MicroPDF417 のプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	MicroPDF417 のプリフィックスを設定する		BB3	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	MicroPDF417 のサフィックスを設定する	 B B 4	BB4	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)		 Z 7	Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.24 QR コードのプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大 4桁	QR コードのプリフィックスを設定する		8N	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	QRコードのサフィックスを設定する		80	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.25 Data Matrix コードのプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	Data Matrix コードのプリフィックスを設定する		8S	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	Data Matrix コードのサフィックスを設定する		8T	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.26 Maxi コードのプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大 4桁	Maxi コードのプリフィックスを設定する		8X	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	Maxi コードのサフィックスを設定する	 8 Y	8Y	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)		 Z 7	Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.27 Aztec コードのプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	Aztec コードのプリフィックスを設定する		C6	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	Aztecコードのサフィックスを設定する		C7	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.28 RSS ファミリーのプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大 4桁	RSS ファミリーのプリフィックスを設定する		BBA	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	RSSファミリーのサフィックスを設定する	 B B B	BBB	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)		 Z 7	Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84

6.29 コンポジットコードのプリフィックス/サフィックス設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	—
複数選択可 最大4桁	コンポジットコードのプリフィックスを設定する		BBH	
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)			Z7	—

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
複数選択可 最大4桁	コンポジットコードのサフィックスを設定する	 B B I	BBI	
	直接コード入力			CR または ENTER
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
	直接コード入力			設定なし
終了(END)		 Z 7	Z7	-

初期設定は次の通りです。

インターフェース	初期設定	直接メニューコード
USB-HID インターフェース	ENTER	\$84




第 7 章 コード長(桁数)の転送オプション

本設定により、読取ったコードのコード長(桁数)を転送します。

転送データ形式

コード長 (桁数)	読取データ	コード別 サフィックス
--------------	-------	----------------

7.1 UPC-A のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
択一	UPC-A のコード長を転送しない	 2 A	2A	○
	UPC-A のコード長を転送する	 3 A	3A	
終了(END)		 Z 7	Z7	-

7.2 UPC-A アドオン2桁/5桁のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
選択	UPC-A アドオン 2 桁/5 桁のコード長を転送しない	 2 B	2B	○
	UPC-A アドオン 2 桁/5 桁のコード長を転送する	 3 B	3B	
終了(END)		 Z 7	Z7	-





7.3 UPC-E のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
択一	UPC-E のコード長を転送しない	 2 C	2C	○
	UPC-E のコード長を転送する	 3 C	3C	
終了(END)		 Z 7	Z7	-


7.4 UPC-E アドオン2桁/5桁のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	-
選択	UPC-E アドオン 2 桁/5 桁のコード長を転送しない		2D	○
	UPC-E アドオン 2 桁/5 桁のコード長を転送する		3D	
終了(END)			Z7	-

7.5 JAN/EAN-13 のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
択一	JAN/EAN-13 のコード長を転送しない	 2 E	2E	○
	JAN/EAN-13 のコード長を転送する	 3 E	3E	
終了(END)		 Z 7	Z7	-





7.6 JAN/EAN-13 アドオン2桁/5 桁のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
択一	JAN/EAN-13 アドオンのコード長を転送しない	 2 F	2F	○
	JAN/EAN-13 アドオンのコード長を転送する	 3 F	3F	
終了(END)		 Z 7	Z7	-


7.7 JAN/EAN-8 のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
択一	JAN/EAN-8 のコード長を転送しない	 2 G	2G	○
	JAN/EAN-8 のコード長を転送する	 3 G	3G	
終了(END)		 Z 7	Z7	-

7.8 JAN/EAN-8 アドオン2桁/5桁のコード長(転送)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	※初期設定
開始(SET)			Z7	-
選択	JAN/EAN-8 アドオン 2桁/5桁にコード長を転送しない		2H	○
	JAN/EAN-8 アドオン 2桁/5桁のコード長を転送する		3H	
終了(END)			Z7	-


7.9 Code39 のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	※初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
選択	Code39 のコード長を 転送しない	 2 I	2I	○
	Code39 のコード長を 転送する	 3 I	3I	
終了(END)		 Z 7	Z7	-

7.10 NW7 のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	※初期設定
開始(SET)			Z7	-
択一	NW7 のコード長を転送しない		2J	○
	NW7 のコード長を転送する		3J	
終了(END)			Z7	-



7.11 Interleaved 2of5 のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	-
選択	Interleaved 2of5 のコード長を転送しない		2L	○
	Interleaved 2of5 のコード長を転送する		3L	
終了(END)			Z7	-

7.12 Industrial 2of5 のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
選択	Industrial 2of5 のコード長を転送しない	 2 K	2K	○
	Industrial 2of5 のコード長を転送する	 3 K	3K	
終了(END)		 Z 7	Z7	-

7.13 IATA 2of5 のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
択 一	IATA 2of5 のコード長 を転送しない	 2 P	2P	○
	IATA 2of5 のコード長 を転送する	 3 P	3P	
終了(END)		 Z 7	Z7	-

7.14 Code93 のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	-
択 一	Code93 のコード長を 転送しない	 2 M	2M	○
	Code93 のコード長を 転送する	 3 M	3M	
終了(END)		 Z 7	Z7	-

7.15 Code128 のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z7	Z7	-
択一	Code128 のコード長を転送しない	 2N	2N	○
	Code128 のコード長を転送する	 3N	3N	
終了(END)		 Z7	Z7	-

7.16 MSI/Plessey のコード長(桁数)の転送設定

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)			Z7	-
選択	MSI/Plessey のコード長を転送しない		20	○
	MSI/Plessey のコード長を転送する		30	
終了(END)			Z7	-

第 8 章 読取失敗メッセージの設定

読取失敗時に出力するメッセージを選択できます。読取失敗（バッドリード）のケースには次の 2 種類があります。

■ラベル無し

バーコードシンボルに相当するイメージが見つからなかった。

■デコード失敗

バーコードシンボルに相当するイメージが見つかったがデコード（解読）できなかった。

読取失敗メッセージには、上記の 2 種類を区別して出力する設定と区別せず出力する設定の 2 種類があります。

8.1 読取失敗メッセージの選択

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)		 Z 7	Z7	—
選択	読取失敗メッセージを使用しない	 5 E	5E	○
	読取失敗メッセージ 1 を使用 "BR"+CR	 5 F	5F	
	読取失敗メッセージ 2 を使用 STX+"?" +ETX(ラベル無し) STX+">" +ETX(デコード失敗)	 5 G	5G	
	読取失敗メッセージ 3 を使用 "?" +ETX(ラベル無し) ">" +ETX(デコード失敗)	 5 H	5H	

機能		メニューラベル	メニューコード	初期設定
択一	読取失敗メッセージ 4 を使用 CAN+CR	 5 I	5I	
	読取失敗メッセージ 5 を使用 STX+CAN+ETX	 5 J	5J	
終了 (END)		 Z 7	Z7	—

第 9 章 アドバンスドスキャン

9.1 読取桁数固定の設定

本設定により読取桁数を固定することができます。読取桁数を固定すると桁数の違う運用対象外のバーコードを間違って読取ることを防止できます。

本設定は、メニューバーコードのみで設定可能です。設定には、実際に使用するバーコードを準備してください。

9.1.1 桁固定 A の設定

(メニューバーコードを使って設定する場合)

メニューバーコードを使って桁固定を行う場合の設定方法です。

桁固定の対象読取コードは、次の通りです。

- Code39
- NW7
- Interleaved 2of 5
- Industrial 2of5
- MSI/Plessey

桁固定 A の設定“H1”メニューバーコードを読取後、桁固定対象の桁数のバーコードを読取ってください。

本設定により、対象読取コード全てにおいて読取桁数が固定されます。
桁固定設定 A 及び B で設定された桁数以外は読取ることができなくなります。

機能		メニューラベル	メニューコード	備考
1	開始(SET)	 Z 7	Z7	-
2	桁固定 A の設定	 H 1	H1	

機能		メニューラベル	メニューコード	備考
3	桁固定対象のバーコードを読み取ります。			
4	桁固定対象のバーコードを再度読み取ります。			
5	終了 (END)		Z7	-

9.1.2 桁固定 B の設定

(メニューバーコードを使って設定する場合)

メニューバーコードを使って桁固定を行う場合の設定方法です。

桁固定の対象読取コードは、次の通りです。

- Code39
- NW7
- Interleaved 2of 5
- Industrial 2of5
- MSI/Plessey

桁固定 B の設定“H4”メニューバーコードを読取後、桁固定対象の桁数のバーコードを読取ってください。




本設定により、対象読取コード全てにおいて読取桁数が固定されます。

桁固定設定 A 及び B で設定された桁数以外は読取ることができなくなります。

機能		メニューラベル	メニューコード	備考
1	開始(SET)	 Z 7	Z7	—
2	桁固定 B の設定	 H 4	H4	
3	桁固定対象のバーコード を読取ります。			
4	桁固定対象のバーコード を再度読取ります。			
5	終了(END)	 Z 7	Z7	—

9.1.3 桁固定設定 A、B のクリア

桁固定設定 A 及び B の設定をクリアします。

機能	メニューラベル	メニューコード	初期設定
開始(SET)	 Z 7	Z7	-
桁固定をしない	 H 0	H0	○
終了(END)	 Z 7	Z7	-

第 10 章 付録

付録A 直接コード入力

直接コード入力のメニューラベルおよびメニューコードを示します。

付録B AIコード入力

UCC/EAN-128 のアプリケーション識別子(AI)コードのメニューラベルおよびメニューコードを示します。







付録C サンプルバーコード





サンプルバーコードを示します。

付録A 直接コード入力

数値入力







0～9 までの数値を直接入力する場合に使用します。







メニューコード	数値	メニューバーコード
Q0	0	 Q 0
Q1	1	 Q 1
Q2	2	 Q 2
Q3	3	 Q 3
Q4	4	 Q 4
Q5	5	 Q 5







メニュー コード	数値	メニューバーコード
Q6	6	
Q7	7	
Q8	8	
Q9	9	







アルファベット大文字入力

アルファベット大文字 A～Z までの文字を直接入力する場合に使用します。

メニューコード	アルファベット大文字	メニューバーコード
0A	A	 <p>0 A</p>
0B	B	 <p>0 B</p>
0C	C	 <p>0 C</p>
0D	D	 <p>0 D</p>
0E	E	 <p>0 E</p>
0F	F	 <p>0 F</p>

メニュー コード	アルファベット 大文字	メニューバーコード
0G	G	 0 G
0H	H	 0 H
0I	I	 0 I
0J	J	 0 J
0K	K	 0 K
0L	L	 0 L







メニュー コード	アルファベット 大文字	メニューバーコード
0M	M	 A barcode with two parts. The left part is a standard 1D barcode for '0'. The right part is a 2D barcode for 'M'. Below the bars are the characters '0' and 'M'.
0N	N	 A barcode with two parts. The left part is a standard 1D barcode for '0'. The right part is a 2D barcode for 'N'. Below the bars are the characters '0' and 'N'.
00	O	 A barcode with two parts. The left part is a standard 1D barcode for '0'. The right part is a 2D barcode for '0'. Below the bars are the characters '0' and '0'.
0P	P	 A barcode with two parts. The left part is a standard 1D barcode for '0'. The right part is a 2D barcode for 'P'. Below the bars are the characters '0' and 'P'.
0Q	Q	 A barcode with two parts. The left part is a standard 1D barcode for '0'. The right part is a 2D barcode for 'Q'. Below the bars are the characters '0' and 'Q'.
0R	R	 A barcode with two parts. The left part is a standard 1D barcode for '0'. The right part is a 2D barcode for 'R'. Below the bars are the characters '0' and 'R'.

メニュー コード	アルファベット 大文字	メニューバーコード
0S	S	 0 S
0T	T	 0 T
0U	U	 0 U
0V	V	 0 V
0W	W	 0 W
0X	X	 0 X







メニュー コード	アルファベット 大文字	メニューバーコード
0Y	Y	 0 Y
0Z	Z	 0 Z

アルファベット小文字入力
 アルファベット小文字 a～z までの文字を入力する場合に使用します。

メニューコード	アルファベット大文字	メニューバーコード
\$61	a	
\$62	b	
\$63	c	
\$64	d	
\$65	e	
\$65	f	

メニュー コード	アルファベット 大文字	メニューバーコード
\$66	g	
\$67	h	
\$68	I	
\$68	j	
\$6B	k	
\$6C	l	

メニュー コード	アルファベット 大文字	メニューバーコード
\$6D	m	 \$ 6 D
\$6E	n	 \$ 6 E
\$6F	o	 \$ 6 F
\$70	p	 \$ 7 0
\$71	q	 \$ 7 1
\$72	r	 \$ 7 2

メニュー コード	アルファベット 大文字	メニューバーコード
\$73	s	 \$ 7 3
\$74	t	 \$ 7 4
\$75	u	 \$ 7 5
\$76	v	 \$ 7 6
\$77	w	 \$ 7 7
\$78	x	 \$ 7 8

メニューコード	アルファベット 大文字	メニューバーコード
\$79	y	
\$7A	z	

16 進コード入力







16 進コード(00h~FFh)をキャラクタ入力として使用する場合には、インターフェース種別により対応するキャラクタが違いますので注意してください。また、キーボードウェッジ I/F 及び USB I/F 時のキャラクタ出力は、日本語 106/109 配列キーボード設定時の出力を表しています。

16 進コード(00h~05h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$00	"00h"	なし	
\$01	"01h"	Ctrl + A	

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$02	"02h"	Ctrl + B	
\$03	"03h"	Ctrl + C	
\$04	"04h"	Ctrl + D	
\$05	"05h"	Ctrl + E	



16 進コード(06h~0Bh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$06	"06h"	Ctrl + F	 \$ 0 6
\$07	"07h"	Ctrl + G	 \$ 0 7
\$08	"08h"	Ctrl + H	 \$ 0 8
\$09	"09h"	Ctrl + I	 \$ 0 9
\$0A	"0Ah"	Ctrl + J	 \$ 0 A
\$0B	"0Bh"	Ctrl + K	 \$ 0 B

16 進コード(0Ch~11h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$0C	"0Ch"	Ctrl + L	 \$ 0 C
\$0D	"0Dh"	Ctrl + M	 \$ 0 D
\$0E	"0Eh"	Ctrl + N	 \$ 0 E
\$0F	"0Fh"	Ctrl + O	 \$ 0 F
\$10	"10h"	Ctrl + P	 \$ 1 0
\$11	"11h"	Ctrl + Q	 \$ 1 1







16 進コード(12h~17h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$12	"12h"	Ctrl + R	 \$ 1 2
\$13	"13h"	Ctrl + S	 \$ 1 3
\$14	"14h"	Ctrl + T	 \$ 1 4
\$15	"15h"	Ctrl + U	 \$ 1 5
\$16	"16h"	Ctrl + V	 \$ 1 6
\$17	"17h"	Ctrl + W	 \$ 1 7





16 進コード(18h~1Dh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$18	"18h"	Ctrl + X	 \$ 1 8
\$19	"19h"	Ctrl + Y	 \$ 1 9
\$1A	"1Ah"	Ctrl + Z	 \$ 1 A
\$1B	"1Bh"	Ctrl + [ \$ 1 B
\$1C	"1Ch"	Ctrl + ¥	 \$ 1 C
\$1D	"1Dh"	Ctrl +]	 \$ 1 D

16 進コード(1Eh~23h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$1E	"1Eh"	Ctrl + ^	 \$ 1 E
\$1F	"1Fh"	Ctrl + _	 \$ 1 F
\$20	"20h"	" "	 \$ 2 0
\$21	"21h"	"!"	 \$ 2 1
\$22	"22h"	"'"	 \$ 2 2
\$23	"23h"	"#"	 \$ 2 3




16 進コード(24h~29h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$24	"24h"	"\$"	
\$25	"25h"	"%"	
\$26	"26h"	"&"	
\$27	"27h"	","	
\$28	"28h"	"("	
\$29	"29h"	")"	

16 進コード(2Ah~2Fh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$2A	"2Ah"	"＊"	 \$ 2 A
\$2B	"2Bh"	"＋"	 \$ 2 B
\$2C	"2Ch"	"，"	 \$ 2 C
\$2D	"2Dh"	"－"	 \$ 2 D
\$2E	"2Eh"	"．"	 \$ 2 E
\$2F	"2Fh"	"／"	 \$ 2 F

16 進コード(30h~35h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$30	"30h"	"0"	
\$31	"31h"	"1"	
\$32	"32h"	"2"	
\$33	"33h"	"3"	
\$34	"34h"	"4"	
\$35	"35h"	"5"	







16 進コード(36h~3Bh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$36	"36h"	"6"	
\$37	"37h"	"7"	
\$38	"38h"	"8"	
\$39	"39h"	"9"	
\$3A	"3Ah"	"."	
\$3B	"3Bh"	"."	


16 進コード(3Ch~41h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$3C	"3Ch"	"<"	
\$3D	"3Dh"	"="	
\$3E	"3Eh"	">"	
\$3F	"3Fh"	"?"	
\$40	"40h"	"@"	
\$41	"41h"	"A"	







16 進コード(42h~47h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$42	"42h"	"B"	
\$43	"43h"	"C"	
\$44	"44h"	"D"	
\$45	"45h"	"E"	
\$46	"46h"	"F"	
\$47	"47h"	"G"	

16 進コード(48h~4Dh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$48	"48h"	"H"	
\$49	"49h"	"I"	
\$4A	"4Ah"	"J"	
\$4B	"4Bh"	"K"	
\$4C	"4Ch"	"L"	
\$4D	"4Dh"	"M"	

16 進コード(4Eh～53h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$4E	"4Eh"	"N"	
\$4F	"4Fh"	"O"	
\$50	"50h"	"P"	
\$51	"51h"	"Q"	
\$52	"52h"	"R"	
\$53	"53h"	"S"	







16 進コード(54h~59h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$54	"54h"	"T"	
\$55	"55h"	"U"	
\$56	"56h"	"V"	
\$57	"57h"	"W"	
\$58	"58h"	"X"	
\$59	"59h"	"Y"	

16 進コード(5Ah~5Fh)

メニュー コード	16 進 コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$5A	"5Ah"	"Z"	
\$5B	"5Bh"	"["	
\$5C	"5Ch"	"¥"	
\$5D	"5Dh"	"J"	
\$5E	"5Eh"	"^"	
\$5F	"5Fh"	" - "	

16 進コード(60h~65h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$60	"60h"	"`"	
\$61	"61h"	"a"	
\$62	"62h"	"b"	
\$63	"63h"	"c"	
\$64	"64h"	"d"	
\$65	"65h"	"e"	

16 進コード(66h~6Bh)

メニュー コード	16 進 コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$66	"66h"	"f"	
\$67	"67h"	"g"	
\$68	"68h"	"h"	
\$69	"69h"	"i"	
\$6A	"6Ah"	"j"	
\$6B	"6Bh"	"k"	




16 進コード(6Ch~71h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$6C	"6Ch"	"l"	
\$6D	"6Dh"	"m"	
\$6E	"6Eh"	"n"	
\$6F	"6Fh"	"o"	
\$70	"70h"	"p"	
\$71	"71h"	"q"	


16 進コード(72h~77h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$72	"72h"	"r"	
\$73	"73h"	"s"	
\$74	"74h"	"t"	
\$75	"75h"	"u"	
\$76	"76h"	"v"	
\$77	"77h"	"w"	

16 進コード(78h~7Dh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$78	"78h"	"x"	
\$79	"79h"	"y"	
\$7A	"7Ah"	"z"	
\$7B	"7Bh"	"{"	
\$7C	"7Ch"	" "	
\$7D	"7Dh"	"}"	

16 進コード(7Eh~83h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$7E	"7Eh"	"~"	 \$ 7 E
\$7F	"7Fh"	Delete	 \$ 7 F
\$80	"80h"	DEL	 \$ 8 0
\$81	"81h"	BS	 \$ 8 1
\$82	"82h"	TAB	 \$ 8 2
\$83	"83h"	↓ (Down Arrow)	 \$ 8 3







16 進コード(84h~89h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$84	"84h"	Enter	 \$ 8 4
\$85	"85h"	ESC	 \$ 8 5
\$86	"86h"	F1	 \$ 8 6
\$87	"87h"	F2	 \$ 8 7
\$88	"88h"	F3	 \$ 8 8
\$89	"89h"	F4	 \$ 8 9

16 進コード(8Ah~8Fh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$8A	"8Ah"	F5	
\$8B	"8Bh"	F6	
\$8C	"8Ch"	F7	
\$8D	"8Dh"	F8	
\$8E	"8Eh"	F9	
\$8F	"8Fh"	F10	

16 進コード(90h~95h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$90	"90h"	F11	 \$ 9 0
\$91	"91h"	F12	 \$ 9 1
\$92	"92h"	Keypad Enter	 \$ 9 2
\$93	"93h"	英数 (Caps Lock)	 \$ 9 3
\$94	"94h"	Enter	 \$ 9 4
\$95	"95h"	Enter	 \$ 9 5






16 進コード(96h~9Bh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$96	"96h"	↑ (Up Arrow)	
\$97	"97h"	→ (Right Arrow)	
\$98	"98h"	← (Left Arrow)	
\$99	"99h"	Insert	
\$9A	"9Ah"	Home	
\$9B	"9Bh"	End	

16 進コード(9Ch~A1h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$9C	"9Ch"	PageUp	 \$ 9 C
\$9D	"9Dh"	PageDown	 \$ 9 D
\$9E	"9Eh"	使用不可	 \$ 9 E
\$9F	"9Fh"	使用不可	 \$ 9 F
\$A0	"A0h"	Right Ctrl(実行)	 \$ A 0
\$A1	"A1h"	半角/全角	 \$ A 1

16 進コード(A2h~A7h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$A2	"A2h"	変換	 \$ A 2
\$A3	"A3h"	無変換	 \$ A 3
\$A4	"A4h"	英数(CapsLock)	 \$ A 4
\$A5	"A5h"	カタカナ/ひらがな	 \$ A 5
\$A6	"A6h"	ひら N.A Assigned MWB-1000	 \$ A 6
\$A7	"A7h"	Keypad Enter	 \$ A 7







16 進コード(A8h~ADh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$A8	"A8h"	使用不可	 \$ A 8
\$A9	"A9h"	Alt+半角/全角	 \$ A 9
\$AA	"AAh"	Alt+変換	 \$ A A
\$AB	"ABh"	Shift+英数	 \$ A B
\$AC	"ACh"	Alt+カタカナ/ひらがな	 \$ A C
\$AD	"ADh"	使用不可	 \$ A D




16 進コード(AEh~B3h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$AE	"AEh"	桁数転送	 \$ A E
\$AF	"AFh"	コード種別転送	 \$ A F
\$B0	"B0h"	Keypad 1	 \$ B 0
\$B1	"B1h"	Keypad 2	 \$ B 1
\$B2	"B2h"	Keypad 3	 \$ B 2
\$B3	"B3h"	Keypad 4	 \$ B 3

16 進コード(B4h~B9h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$B4	"B4h"	Keypad 5	 \$ B 4
\$B5	"B5h"	Keypad 6	 \$ B 5
\$B6	"B6h"	Keypad 7	 \$ B 6
\$B7	"B7h"	Keypad 8	 \$ B 7
\$B8	"B8h"	Keypad 9	 \$ B 8
\$B9	"B9h"	Keypad /	 \$ B 9







16 進コード(BAh~BFh)

メニュー コード	16 進 コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$BA	"BAh"	Keypad *	 \$ B A
\$BB	"BBh"	Keypad -	 \$ B B
\$BC	"BCh"	Keypad +	 \$ B C
\$BD	"BDh"	Keypad 0	 \$ B D
\$BE	"BEh"	Keypad .	 \$ B E
\$BF	"BFh"	Keypad NumLock	 \$ B F







16 進コード(C0h~C5h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$C0	"C0h"	Alt + @	 \$ C 0
\$C1	"C1h"	Alt + A	 \$ C 1
\$C2	"C2h"	Alt + B	 \$ C 2
\$C3	"C3h"	Alt + C	 \$ C 3
\$C4	"C4h"	Alt + D	 \$ C 4
\$C5	"C5h"	Alt + E	 \$ C 5

16 進コード(C6h~CBh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$C6	"C6h"	Alt + F	 \$ C 6
\$C7	"C7h"	Alt + G	 \$ C 7
\$C8	"C8h"	Alt + H	 \$ C 8
\$C9	"C9h"	Alt + I	 \$ C 9
\$CA	"CAh"	Alt + J	 \$ C A
\$CB	"CBh"	Alt + K	 \$ C B

16 進コード(CCh~D1h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$CC	"CCh"	Alt + L	 \$ C C
\$CD	"CDh"	Alt + M	 \$ C D
\$CE	"CEh"	Alt + N	 \$ C E
\$CF	"CFh"	Alt + O	 \$ C F
\$D0	"D0h"	Alt + P	 \$ D 0
\$D1	"D1h"	Alt + Q	 \$ D 1



16 進コード(D2h~D7h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$D2	"D2h"	Alt + R	 \$ D 2
\$D3	"D3h"	Alt + S	 \$ D 3
\$D4	"D4h"	Alt + T	 \$ D 4
\$D5	"D5h"	Alt + U	 \$ D 5
\$D6	"D6h"	Alt + V	 \$ D 6
\$D7	"D7h"	Alt + W	 \$ D 7

16 進コード(D8h~DDh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$D8	"D8h"	Alt + X	 \$ D 8
\$D9	"D9h"	Alt + Y	 \$ D 9
\$DA	"DAh"	Alt + Z	 \$ D A
\$DB	"DBh"	Alt + [ \$ D B
\$DC	"DCh"	Alt + ¥	 \$ D C
\$DD	"DDh"	Alt +]	 \$ D D

16 進コード(DEh~E3h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$DE	"DEh"	Alt + ^	 \$ D E
\$DF	"DFh"	Alt + _	 \$ D F
\$E0	"E0h"	かな/カナ(Apple)	 \$ E 0
\$E1	"E1h"	英数(Apple)	 \$ E 1
\$E2	"E2h"	command+ Space(Apple)	 \$ E 2
\$E3	"E3h"	control+ ;(Apple)	 \$ E 3

16 進コード(E4h～E9h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$E4	"E4h"	control+shift+ J (Apple)	 \$ E 4
\$E5	"E5h"	control+shift+ ; (Apple)	 \$ E 5
\$E6	"E6h"	control+shift+ :(Apple)	 \$ E 6
\$E7	"E7h"	使用不可	 \$ E 7
\$E8	"E8h"	使用不可	 \$ E 8
\$E9	"E9h"	使用不可	 \$ E 9

16 進コード(EAh~EFh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$EA	"EAh"	使用不可	 \$ E A
\$EB	"EBh"	使用不可	 \$ E B
\$EC	"ECh"	使用不可	 \$ E C
\$ED	"EDh"	使用不可	 \$ E D
\$EE	"EEh"	使用不可	 \$ E E
\$EF	"EFh"	使用不可	 \$ E F

16 進コード(F0h～F5h)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$F0	"F0h"	使用不可	 \$ F 0
\$F1	"F1h"	使用不可	 \$ F 1
\$F2	"F2h"	使用不可	 \$ F 2
\$F3	"F3h"	使用不可	 \$ F 3
\$F4	"F4h"	使用不可	 \$ F 4
\$F5	"F5h"	使用不可	 \$ F 5

16 進コード(F6h～FBh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$F6	"F6h"	使用不可	 \$ F 6
\$F7	"F7h"	使用不可	 \$ F 7
\$F8	"F8h"	使用不可	 \$ F 8
\$F9	"F9h"	使用不可	 \$ F 9
\$FA	"FAh"	使用不可	 \$ F A
\$FB	"FBh"	使用不可	 \$ F B





16 進コード(FCh~FFh)

メニューコード	16 進コード	キャラクタ	メニューバーコード
\$FC	"FCh"	使用不可	 \$ F C
\$FD	"F0h"	使用不可	 \$ F 0
\$FE	"FEh"	使用不可	 \$ F E
\$FF	"FFh"	使用不可	 \$ F F







付録B AIコード入力

出力モード1用アプリケーション識別子(AI)メニュー入力

AIコード(00～12)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/00FF	00	-	 / 0 0 F F
/01FF	01	-	 / 0 1 F F
/02FF	02	-	 / 0 2 F F
/10FF	10	-	 / 1 0 F F
/11FF	11	-	 / 1 1 F F
/12FF	12	-	 / 1 2 F F

AIコード(13～22)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/13FF	13	-	 / 1 3 F F
/15FF	15	-	 / 1 5 F F
/17FF	17	-	 / 1 7 F F
/20FF	20	-	 / 2 0 F F
/21FF	21	○	 / 2 1 F F
/22FF	22	○	 / 2 2 F F


AI コード(23L~252)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/23LF	23L ※1	- (データフィールド長=2L+1) 例.231 なら 2X1+1=3	 / 2 3 L F
/240F	240	○	 / 2 4 0 F
/241F	241	○	 / 2 4 1 F
/250F	250	○	 / 2 5 0 F
/251F	251	○	 / 2 5 1 F
/252F	252	○	 / 2 5 2 F

AI コード(30～314D)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/30FF	30	○	 / 3 0 F F
/310D	310D ※2	-	 / 3 1 0 D
/311D	311D ※2	-	 / 3 1 1 D
/312D	312D ※2	-	 / 3 1 2 D
/313D	313D ※2	-	 / 3 1 3 D
/314D	314D ※2	-	 / 3 1 4 D

AI コード(315D～323D)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/315D	315D ※2	-	 / 3 1 5 D
/316D	316D ※2	-	 / 3 1 6 D
/320D	320D ※2	-	 / 3 2 0 D
/321D	321D ※2	-	 / 3 2 1 D
/322D	322D ※2	-	 / 3 2 2 D
/323D	323D ※2	-	 / 3 2 3 D



AI コード(324D～329D)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/324D	324D ※2	-	 / 3 2 4 D
/325D	325D ※2	-	 / 3 2 5 D
/326D	326D ※2	-	 / 3 2 6 D
/327D	327D ※2	-	 / 3 2 7 D
/328D	328D ※2	-	 / 3 2 8 D
/329D	329D ※2	-	 / 3 2 9 D


AI コード(330D～335D)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/330D	330D ※2	-	 / 3 3 0 D
/331D	331D ※2	-	 / 3 3 1 D
/332D	332D ※2	-	 / 3 3 2 D
/333D	333D ※2	-	 / 3 3 3 D
/334D	334D ※2	-	 / 3 3 4 D
/335D	335D ※2	-	 / 3 3 5 D


AI コード(336D～343D)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/336D	336D ※2	-	 / 3 3 6 D
/337D	337D ※2	-	 / 3 3 7 D
/340D	340D ※2	-	 / 3 4 0 D
/341D	341D ※2	-	 / 3 4 1 D
/342D	342D ※2	-	 / 3 4 2 D
/343D	343D ※2	-	 / 3 4 3 D






AI コード(344D～349D)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/344D	344D ※2	-	 / 3 4 4 D
/345D	345D ※2	-	 / 3 4 5 D
/346D	346D ※2	-	 / 3 4 6 D
/347D	347D ※2	-	 / 3 4 7 D
/348D	348D ※2	-	 / 3 4 8 D
/349D	349D ※2	-	 / 3 4 9 D







AI コード(350D～355D)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/350D	350D ※2	-	 / 3 5 0 D
/351D	351D ※2	-	 / 3 5 1 D
/352D	352D ※2	-	 / 3 5 2 D
/353D	353D ※2	-	 / 3 5 3 D
/354D	354D ※2	-	 / 3 5 4 D
/355D	355D ※2	-	 / 3 5 5 D

AI コード(356D～363D)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/356D	356D ※2	-	 / 3 5 6 D
/357D	357D ※2	-	 / 3 5 7 D
/360D	360D ※2	-	 / 3 6 0 D
/361D	361D ※2	-	 / 3 6 1 D
/362D	362D ※2	-	 / 3 6 2 D
/363D	363D ※2	-	 / 3 6 3 D






AI コード(364D～369D)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/364D	364D ※2	-	 / 3 6 4 D
/365D	365D ※2	-	 / 3 6 5 D
/366D	366D ※2	-	 / 3 6 6 D
/367D	367D ※2	-	 / 3 6 7 D
/368D	368D ※2	-	 / 3 6 8 D
/369D	369D ※2	-	 / 3 6 9 D






AI コード(37～400)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/37FF	37	○	 / 3 7 F F
/390D	390D ※2	○	 / 3 9 0 D
/391D	391D ※2	○	 / 3 9 1 D
/392D	392D ※2	○	 / 3 9 2 D
/393D	393D ※2	○	 / 3 9 3 D
/400F	400	○	 / 4 0 0 F

AI コード(401~412)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/401F	401	○	 / 4 0 1 F
/402F	402	○	 / 4 0 2 F
/403F	403	○	 / 4 0 3 F
/410F	410	-	 / 4 1 0 F
/411F	411	-	 / 4 1 1 F
/412F	412	-	 / 4 1 2 F







AI コード(413~422)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/413F	413	-	 / 4 1 3 F
/414F	414	-	 / 4 1 4 F
/415F	415	-	 / 4 1 5 F
/420F	420	○	 / 4 2 0 F
/421F	421	○	 / 4 2 1 F
/422F	422	○	 / 4 2 2 F







AI コード(423～7002)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/423F	423	○	 / 4 2 3 F
/424F	424	○	 / 4 2 4 F
/425F	425	○	 / 4 2 5 F
/426F	426	○	 / 4 2 6 F
/7001	7001	○	 / 7 0 0 1
/7002	7002	○	 / 7 0 0 2






AI コード(703s~8005)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/703s	703s	○	 / 7 0 3 s
/8001	8001	○	 / 8 0 0 1
/8002	8002	○	 / 8 0 0 2
/8003	8003	○	 / 8 0 0 3
/8004	8004	○	 / 8 0 0 4
/8005	8005	○	 / 8 0 0 5







AI コード(8006～8100)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/8006	8006	○	 / 8 0 0 6
/8007	8007	○	 / 8 0 0 7
/8008	8008	○	 / 8 0 0 8
/8018	8018	○	 / 8 0 1 8
/8020	8020	○	 / 8 0 2 0
/8100	8100	○	 / 8 1 0 0

AI コード(8101～93)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/8101	8101	○	 / 8 1 0 1
/8102	8102	○	 / 8 1 0 2
/90FF	90	○	 / 9 0 F F
/91FF	91	○	 / 9 1 F F
/92FF	92	○	 / 9 2 F F
/93FF	93	○	 / 9 3 F F

AI コード(94～99)

メニュー コード	AI	フィールドセパレータ(FNC1) 要否 ○= 要 - = 不要	メニューバーコード
/94FF	94	○	 / 9 4 F F
/95FF	95	○	 / 9 5 F F
/96FF	96	○	 / 9 6 F F
/97FF	97	○	 / 9 7 F F
/98FF	98	○	 / 9 8 F F
/99FF	99	○	 / 9 9 F F

※1 この“L”はレングスを表しています。

※2 この“D”は小数点位置を表しています。

付録C サンプルバーコード

注意事項) 本サンプルバーコードは、縮小印刷しないでください。
推奨印刷条件: A4 縦 印刷品質: 600DPI 以上

UPC

UPC-A



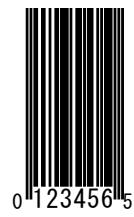
UPC-A アドオン 2 桁



UPC-A アドオン 5 桁



UPC-E



UPC-E アドオン 2 桁



UPC-E アドオン 5 桁



JAN/EAN-13/8

JAN/EAN-13



JAN/EAN-13 アドオン 2 桁



JAN/EAN-13 アドオン 5 桁



JAN/EAN-8



JAN/EAN-8 アドオン 2 桁



JAN/EAN-8 アドオン 5 桁



Code 39

CODE39 7 桁



CODE39 10 桁



NW7

NW7 7 桁



NW7 10 桁



Interleaved 2of5

Interleaved 2of5 6 桁



Interleaved 2of5 10 桁



Industrial 2of5

Industrial 2of5 5 桁



Industrial 2of5 10 桁



Code 93



Code 128



UCC/EAN-128

UCC/EAN-128 sample1



UCC/EAN-128 sample2



MSI/Plessey



PDF417



PDF417 WELCAT INC.

Micro PDF417



MicroPDF417 WELCAT INC.

QRコード



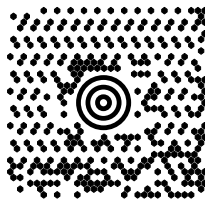
QR Code WELCAT INC.

Data Matrixコード



Data Matrix Code

Maxiコード



Maxi Code

Aztecコード



Aztec Code

RSSファミリー

RSS-14



(01) 03391117609055

RSS-Limited



(01) 03391117609055

RSS-Expanded



(01) 033911514090EX

コンポジットコード

EAN コンポジットコード

EAN-13 CC-A/CC-B

EAN-13 CC-A

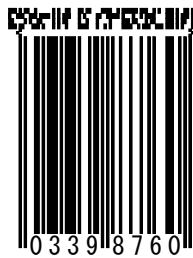


EAN-13 CC-B

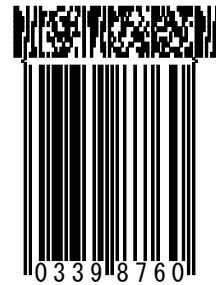


EAN-8 CC-A/CC-B

EAN-8 CC-A



EAN-8 CC-B



UPCコンポジット
UPC-A CC-A/CC-B



UPC-E CC-A/CC-B



UCC/EAN-128 コンポジット

UCC/EAN-128 CC-A/CC-B/CC-C

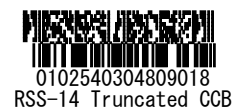
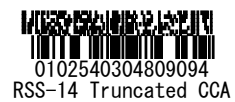


RSSコンポジット

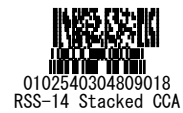
RSS-14 Standard CC-A/CC-B



RSS-14 Truncated CC-A/CC-B



RSS-14 Stacked CC-A/CC-B



RSS-Limited CC-A/CC-B



RSS-Expanded CC-A/CC-B



RSS-Expanded Stacked CC-A/CC-B



USB 二次元コードリーダー Image7-USB システム設定マニュアル

2007 年 5 月 第 4 版発行

株式会社ウェルキャット

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川 4-12-8 品川シーサイドイーストタワー 6F
TEL : 03-5463-8580 FAX : 03-5463-8586
大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-7-19 第 7 新大阪ビル
TEL : 06-6307-0502 FAX : 06-6307-0504

Homepage <http://www.welcat.co.jp/>

E-mail info@welcat.co.jp

Copyright©2005 Welcat Inc.

M04IMAGE7USBS